

平成31年 東三河8市町村長を囲む 新春懇談会



東三河懇話会

開会挨拶



東三河懇話会会長

吉川一弘

した。
2019年、平成31年の新しい年が始まりま新年あけましておめでとうございます。

第49回新春懇談会にご出席いただきました、 豊橋市・佐原市長様をはじめ東三河各自治体 の首長の皆さま、東三河の経済界、大学、行 の首長の皆さま、東三河の経済界、大学、行 政の皆さまに多数ご出席をいただきまして、 心から新春のお祝いとお礼を申し上げます。 昨年を振り返りますと、東三河地域におき ましては、道路や港湾などのインフラ整備が ましては、道路や港湾などのインフラ整備が 場としたサーフィン世界大会、新城市のニュー 場としたサーフィン世界大会、新城市のニュー 場としたサーフィン世界大会、新城市のニュー 場としたサーフィン世界大会、新城市のニュー 場としたサーフィン世界大会、新城市のニュー 場としたサーフィン世界大会、新城市のニュー 場としたサーフィン世界大会、新城市のニュー

雨、地震などの自然災害による被害の多い一しかし、全国に目を向けますと、台風や豪

進め、災害に備えたいと思います。
たちも家庭や地域・職場での取組みをさらに
たちも家庭や地域・職場での取組みをさらに
震の発生が予測されており、各自治体による

期待しています。
東三河が一つになって取り組んでいくことを
す、そして今年が素晴らしい1年になるよう、

本日は、豊橋技術科学大学の大西学長のコー本日は、豊橋技術科学大学の大西学長のコーを頂きます。東三河の将来展望を大いに語っを頂きます。東三河の将来展望を大いに語っ

きます。 をいたしまして、開会の挨拶とさせていただ 年頭にあたり、皆様のご健勝とご発展を祈



8 市町村長による パネルディスカッション

東三河8市町村長によるパネルディスカッション新春懇談会

「持続可能な開発目標 (SDGs)

ーディネーター

■豊橋技術科学大学 学長 大西 隆氏



本日のテーマである持 を ので、17の目標を巡り を ので、17の目標を巡り を ので、17の目標を巡り を ので、17の目標を巡り

全世界でいろいろな議論が行われています。17の全世界でいろいろな議論が行われています。17の全世界でいろいろな議論が行われています。17の全世界でいる者に何らかの関係がある、あるいは自分きている者に何らかの関係がある、あるいは自分きている者に何らかの関係がある、あるいは自分たちの生活や活動の目標にしなければならないたちの生活や活動の目標にしなければならないとが、網羅的に盛り込まれているのが持続可能なとが、網羅的に盛り込まれているのが持続可能なとが、網羅的に盛り込まれているのが持続可能な

しっかりと働いていただくのと同時に、共生するされます。地域としては、外国人労働者の方々にが多い地域ですが、今後さらに増えることが予想入ってきます。東三河は以前から外国人の働き手入か国では、4月に入管法の改正が施行され、わが国では、4月に入管法の改正が施行され、

には、東三河だけではなく、地球が今どのようなには、東三河だけではなく、地球が今どのような観点からも、特要があると思います。そのような観点からも、特とって必要な働き手を確保する施策を展開する必とって必要な働き手を確保する施策を展開する必とって必要な働き手を確保する施策を展開する必にこの地域にとって重要なテーマだと言えるのではないでしょうか。

SDGsの達成に向けた取組みについての議論 SDGsの達成に向けた取組みたついてお聞かせい ただきたいと思います。最初は、豊橋市の佐原光 ただきたいと思います。最初は、豊橋市の佐原光

■豊橋市長 佐原光一氏



とか勝って欲しいというに残念でした。今年は何に残念でした。今年は何に残念でした。今年は何になかりま常

個人的な一番の望みです。サッカーなど、地元のチームが勝つことが今年のクタイをして来ました。野球やバスケットボール思いを込めて、今日は三遠ネオフェニックスのネ

ということです。道路については、「浜松三ヶ日・オープンし、間もなく蒲郡市の岸壁が延長できる行政では、三河港で豊川市と豊橋市の岸壁が

す。 金額でした。大変良い話題が続いていると思いま円となっており、これは要求額より1割以上多いは、年末公表された国の予算書を見ると156億本当にうれしく思っています。設楽ダムに関して豊橋道路(仮称)」がようやく調査段階まで進み、

他にも、西口住宅の建設など、 業者と共に進めていきたいと考えています。 を入れており、プラスチックを減らす取組みを事 正式に発表したいと思います。ここでは環境に力 とよはし」が完成予定で、 数十年ぶりに木造校舎の建設を進めています。5 事業が12月に無事着工の運びとなり、 ました。街の真ん中では、駅前大通二丁目再開発 野においては、シンガポールに7トンの柿を輸出 まざまな事業が進みます 完成します。戦後は鉄筋校舎が続いてきましたが、 な動きとしては、3月に高根小学校の木造校舎が 2021年度の開館を目指して「まちなか図書館 したところ、あっという間に完売することができ ながら、さまざまな事業が進んでいます。 (仮称)」の整備を進めていきます。その他の大き 豊橋市内では、豊川用水通水5周年をお祝 食彩村の隣に整備を進めている「道の駅 詳細が決まりましたら 市内でこれからさ われわれも

下います。
東三河広域連合に目を向けると、昨年の4月かま三河広域連合に目を向けると、昨年の4月かま三河広域連合に目を向けると、昨年の4月かまでは、ます。

を含め子どもたちに多くの課題が掛かっています。授業とその後の就業の機会まで、外国人問題などの問題にしっかりと取り組んでいきます。学校の今年は、外国人を含めさまざまな人たちの学び

きたいと思います。人材の育成につながるよう、教育に力を入れていりません。そのような時代を生き抜く力を持ったこれから先、どのような時代になるか誰にも分か

大西氏

した。続いて、豊川市の山脇実市長お願い致します。工する事業の事例を踏まえながらお話いただきまありがとうございました。今年度、具体的に竣

■豊川市長 山脇 実氏



同様に人口減少や少子高市制施行75周年の節目の市制施行75周年の節目の事別を

ただきました。

お代表すした。

の思いを盛り込んだ政策ビジョン「4Sのまちづい、懸案でありました「豊川海軍工廠平和公園」が、懸案でありました「豊川海軍工廠平和公園」が、懸案でありました「豊川海軍工廠でありにより」については、皆さまのご理解とご協力により」については、皆さまのご理解とご協力により、利力を強いが予測される厳しい状況ではありますが、私齢化が予測される厳しい状況ではありますが、私齢化が予測される厳しい状況ではありますが、私

1月8日現在91名の方に寄付をいただきました。 では、「子育てするなら豊川市」 では、「子育でするなら豊川市」 といわれるまちづくりを進めています。今年の夏 までに、全ての小中学校普通教室への空調設備の までに、全ての小中学校普通教室への空調設備の 設置を進めていきます。保育所への設置について は、昨年末からクラウドファンディングによる資 は、昨年末からクラウドファンディングによる資 は、昨年末からクラウドファンディングによる資 は、昨年末からクラウドファンディングによる資 は、昨年末からクラウドファンディングによる資 は、昨年末からクラウドファンディングによる資 は、昨年末からクラウドファンディングによる資 は、昨年末からクラウドファンディングによる資 は、昨年末からクラウドファンディングによる資 は、昨年末からクラウドファンディングによる資

できる取組みを進めています。
こつ目のSafety【安心】では、「安全安心で活気のあふれるまち」をつくります。多発するゲリラ豪雨や、発生が危惧される南海トラフ地震に対応する、災害に強いまちづくりを進めていきます。市の中心部に位置する豊川公園内の陸上競技場および中心部に位置する豊川公園内の陸上競技場およびでも気軽に体力づくり、健康づくりを行うことがでも気軽に体力づくり、健康づくりを行うことがでも気軽に体力づくり、健康づくりを行うことができる取組みを進めています。

もに、政策間における事業連携や官民連携を図り 基づき、地方創生に係る重点施策に取り組むとと 井地域交流会館(仮称)の建設に着手します。そ ながら、定住・交流人口の増加に向けて効果を発 画及び本市のまち・ひと・しごと創生総合戦略に しいまち」の実現に向けて、第6次豊川市総合計 標「子どもたちの笑顔あふれ安全安心で人にやさ 小坂井エリアの公共施設再編事業において、小坂 公共施設適正配置計画のリーディング事業である す。本年もよろしくお願いします。 揮する施策に重点を置いた取組みを進めていきま の統廃合、多機能化、複合化を推進していきます。 の他にも、市内に数多くある老朽化した公共施設 かりやすく、無駄のない行政」を進めていきます。 四つ目のSimple【わかりやすさ】については、「わ 本市の魅力を高めるために、政策ビジョンの目

■ 大西氏

お願い致します。

お願い致します。

がうことでした。続いて、蒲郡市の稲葉正吉市長既に実っていて、さらに進めている施策もあると既に実っていて、さらに進めている施策もあるということでした。対した。山脇市長からは、恒

■蒲郡市長 稲葉正吉氏



市長選挙を含め5つの選問年という節目の年を迎えます。また、今年は統一地方選挙の年でもあり、

ます。
ます。
ます。
方とな行政の節目、潮の目の年になるといても、大きな行政の節目、潮の目の年になるといても、大きな行政の節目、潮の目の年になるといても、大きな行政の節目、潮の目の年になるといます。
方とな行政の節目、潮の目の年になるといます。
市民の皆さんと一緒にお祝いをして、賑わいを盛り上げるような一年にしたいと思っています。
本書を表記がいる場合でもあります。
市民のおうな一年にしたいと思っています。

り上がっていただければと思います。 26日(日)に、2年前の海フェスタ東三河にも来ていただいた、海上自衛隊東京音楽隊の演奏会をでいただいた、海上自衛隊東京音楽隊の演奏会をををしていただけるようお願いしているところで、盛来ていただけるようお願いします。式典翌日の5月

今年予定している主な施策をご紹介します。4 今年予定している主な施策をご紹介します。4 りを進めていきます。 1 りを進めていきます。 2 りを進めていきます。 3 りを進めていきます。 4 りを進めていきます。 4

エアコンを設置します。工事業者が決定し、6月までに小学校低学年の教室と、保育所の保育室にまた、昨年は猛暑を経験しましたが、今年の夏

8 市町村長による パネルディスカッション

めています。

動く場の確保として、企業用地の造成を進めています。応募は既に締め切っており、全ての区画で雇用形態、希望価格を点数化して決めたいと思い雇用形態、希望価格を点数化して決めたいと思いがます。応募は既に締め切っており、全ての区画でがありましたが、現在は分譲の準備をしています。公働く場の確保として、企業用地の造成を進めて

会を盛り上げたいと考えています。各地からたくさんの消防団の皆さんを迎えて、大第64回の愛知県消防操法大会を開催します。県内最後になりますが、今年の7月には、蒲郡市で

■大西氏

が多いと思います。具体的な変化として、随分と施行65周年を迎えられるということで、おめでとっございます。さまざまな施策の中で、小学校にない小学校で学んだ経験がある方には、そうではない小学校で学んだ経験がある方には、そうではない小学校で学んだ経験がある方には、そうではない小学校で学んだ経験がある方には、そうではない小学校で学んだ経験がありがとうございました。蒲郡市は今年で市制ありがとうございました。蒲郡市は今年で市制

の穂積亮次市長お願い致します。られたのではないでしょうか。それでは、新城市日本の学校も変わるのだということを改めて感じ

■新城市長 穂積亮次氏



もご紹介がありましたが、す。先ほど吉川会長からに一言御礼を申し上げまして、お集まりの皆さまして、おりの皆さまして、おりの場をお借り

で議論し、交流しました。 経済交流・教育交流・観光などさまざまなテーマ経済交流・教育交流・観光などさまざまなテーマーはいが、と名が付く都市が集い、議を開催しました。世界14カ国16都市のニュー昨年の10月にニューキャッスル・アライアンス会

ご協力をいただきました。各企業からのプレゼン ビジネスに向かうのではないかと思います。また、 ことにより、 だ発展する可能性のあるプラットホームを作った ます。改めて、 その折に各企業の皆さまからいただいた多額の協 直線の交流ではなく、世界各国に散らばるまだま に繋がるような交渉が行われました。一都市と一 開する企業の皆さま、豊橋商工会議所、 には、新城市内の企業だけでなく東三河各地に展 今後は皆さまのためにも役立てていきたいと思い **賛金は、3月には基金を積み立てる条例を設置し** テーションもあり、有難いことにいろいろな商談 工会議所の会頭はじめたくさんの皆さまにご参加 流会をちょうどこの会場で開催しました。その折 その中の大きなイベントの一つとして、 従来の信頼関係の上でさらに新しい 皆さまのご協力に感謝を申し上げ 豊川商 経済交

合計画のスタートです。平成17年の合併から14年新城市の本年の一番大きなテーマは、第2次総

日を迎え、合併直後に制定した第1次総合計画が日を迎え、合併直後に制定した。さまざまな住民自 が基盤の上で、つながる力を基に、新しい豊か さを開拓する、新しいフロンティアを山の湊とし さを開拓する、新しいフロンティアを山の湊とし さを開拓する、新しいフロンティアを山の湊とし で切り開いていく、そんな市民のつながりを重視した まちづくりを進めてきました。さまざまな住民自 ででまざまな施策を盛り込んでいきたいと思いま でさまざまな施策を盛り込んでいきたいと思いま

第1次総合計画以来、一貫しているまちづくりの基本理念は、住民自治の上で世代のリレーがである地域社会な形で押し寄せてきますが、根幹にある地域社会の最大の役割は、世代がつながっていくということです。若者政策、若者議会を進めてきたのもそとです。若者政策、若者議会を進めてきたのもそとです。若者政策、若者議会を進めてきるよう、全力をの趣旨です。世代のリレーができるよう、全力をの趣旨です。

結果は大変興味深いものでした。 結果は大変興味深いものでした。 が、ありますか」「年金を何に使っていますか」「年金を何に使っていますか」「年金 でがますか」「年金を何に使っていますか」「年金 で新しいコミュニティビジネスに投資する用意が を新しいコミュニティビジネスに投資する用意が ないますか」といった大変立ち入った内容ですが、 を新しいコミュニティビジネスに投資する用意が に対しました。例えば、「あなたは何

年金というと、持続可能なのかと思われるかもしれません。そのような意味での年金財政の持続しれません。そのような意味での年金財政の持続は、年金をもらっている高齢者は単に扶養されは、年金をもらっている高齢者は単に扶養される世代というだけではなく、日々の生活の中で消る世代というだけではなく、日々の生活の中で消る世代というだけではなく、日々の生活の中で消る世代というだけではなく、日々の生活の中で消る世代というだけではなく、日々の生活の中で消る性は、高齢者の年金所得が現役世代に再移転する仕組みと循環を意識的に作り上げることを抜き

いと思います。
にして、世代のリレーはできないと思っていまた
者の資産は何らかの形で必ず現役世代へ還元され
者の起業や創業、コミュニティビジネスに展開で
きる仕組みを、総力で知恵を絞って作っています。

施策一覧をご覧ください。 決意であります。その他の施策については、重点 決意であります。その他の施策については、重点 ながら、住民自治・地域自治をさらに進めていく 代が必ずつながるようなまちづくりを根底に据え

■大西氏

表りがとうございました。昨年は、ニューキャッカりがとうございました。昨年は、ニューキャッカにおければと思います。続いて、田原市の山下政でだければと思います。続いて、田原市の山下政にだければと思います。続いて、田原市の山下政にだければと思います。続いて、田原市の山下政にだければと思います。続いて、田原市の山下政

■田原市長 山下政良氏



は3位という結果でした 伝の応援に行きました。 伝の応援に行きました。

非常に感激して元気をもらいました。が、抜きつ抜かれつの大変素晴らしいレースで、

イベントがたくさんありました。まずは、9月に

昨年を振り返ってみますと、田原市では大きな

一つのきっかけとして必要だと考えています。 開催した「ISAワールドサーフィンゲームス」 明確は28年ぶりということで、非常に盛り上がりました。10月には、「全国丼サミット・田原」をりきれてしまうほどたくさんの方にご来場いただき、こちらも大いに盛り上がりました。このようき、こちらも大いに盛り上がりました。このようなイベントは、田原市、渥美半島が大変賑やかになり、イベントを通じて日本全国に広まっている。 中国では、日本でです。サーフィンが自るスープのできっかけとして必要だと考えています。

堪能していただきたいと思います。他の地域には 三河広域経済連合会などで組織された東三河レス 東三河全体の地域活性化につながることを期待し ない魅力を活かすことで、渥美半島だけではなく 美しい景色と共に、地元の食材を活かした料理を 建ての解放感のある真っ赤なバスで、渥美半島の 方では初の試みとなります。2月1日から3月31 河レストランバスは、東三河広域観光協議会や東 ています。 湾側と太平洋側を巡る六つのコースがあり、2階 して渥美半島をレストランバスが走ります。三河 日までの期間限定で、東三河のトップバッターと トランバス実行委員会主催で行うもので、東海地 て、東三河レストランバスが運行されます。 平成30年度には、もう一つ大きなイベントとし 東三

今年度もさまざまなイベントを開催しています。引き続き、皆さまのご支援をお願い致します。引き続き、皆さまのご支援をお願い致します。引き続き、皆さまのご支援をお願い致します。かったと感じていただけるような魅力的なまちづくりをさらに進めていきます。新年度は、田原市に住んでみたい、住んでよかったと感じていただけるような魅力的なまちづくりをさらに進めていきます。新年度もさまざまなイベントを開催しています。

ながると期待しています。 と共に、新たな交流拠点としてまちの活性化につ 昨年6月にオープンした LaLaGran(ララグラン) 昨年6月にオープンした LaLaGran(ララグラン) と共に、新たな交流拠点としてまちの活性化につ と対に、新たな交流拠点としてまちの活性化につ と対に、新たな交流拠点としてまちの活性化につ と対に、新たな交流拠点としてまちの活性化につ と対応されば、駅前にホテルがオープンします。

■ 大西氏

ありがとうございました。「ISAワールドサーありがとうございました。「ISAワールドサーカが昨年の事業でした。今年は、生活にポイントを当てたさまざまな施策が実るという報告がありました。「ISAワールドサー

■設楽町長 横山光明氏



世代が減少している状況さらに30代、40代の若いさらに30代、40代の若い

ら立ち上がり、町内の各地区で移住・定住を促進を少しでも食い止めるために、町民の皆さんが自るのではないかと懸念する一方、このような状況です。町の活力が失われ

8 市町村長による パネルディスカッション

事業を展開していきます。

正とができるまちづくりを念頭に置き、積極的に

で、活性化につながる新たな事業を起こします。

たって若者が夢を持つことのできる町を目指し

ながる新のないただいています。将来に

取り掛かり、 ということで、 月には最後の8棟が完成します。 総戸数116戸全てを新しく作り変え、今年の3 朽化した公営住宅の建て替えも進めており、 年度に全地域での運用開始を目指しています。老 下水道の整備を進めています。昨年から工事に 業」、「水源地域振興整備事業」の具現化を進めます。 付けるための計画に位置付けた「水源地域整備事 とと思います。一方で、設楽町独自の事業も展開 来年度は156億円近い予算が付けられる見込み 話があったように、国土交通省によるダム事業で します。ダム建設に伴い、町民の生活再建に結び 住みやすい環境づくりとして、 設楽ダムについては、先ほど佐原市長からもお 平成33年度に一部供用開始、 今後、事業推進が図られていくこ 田口地区の公共 平 成 35 現在、

センターを建設し、 備を進めていきます。また、きららの森にビジター 況です。新しい町道、 改良整備を進めると同時に、 県道5路線について い、新たな火葬場を設楽町で建設します。こちら 設楽町が共同で使用している火葬場の老朽化に伴 めてまいります。また、豊根村と長野県の根羽村 も、これから新しい夢のある道路が建設される状 257号、国道473号、国道420号の大きな の整備については、愛知県が実施している国道 新たな観光資源開発とにぎわいのまちづくりと 町内の国道3路線、県道5路線、 郷土資料館や道の駅の建設、ダム湖周辺整 32年の2年間で完成させる予定です。 さらには山、 林道の建設も引き続き進 Щ 町道、 星、 ホタル

をテーマとしたイベント事業を進めていきます。その他には、今年中に2中学校、5小学校、1保育園の全でにエアコンを設置し、快適な教育環境 付別のために、がん検診も含めた各種検診、高齢者インフルエンザ予防接種の無料化など、町民の 者インフルエンザ予防接種の無料化など、町民の 世康に留意する政策を進めます。設楽町では、この町で住んでいく人の生活基盤づくりとして、この町で住んでいく人の生活基盤づくりに取り組んでいきます。

大西氏

ありがとうございました。日本の人口減少社会は、止まる兆しがなく進んでいます。特に人口のは、止まる兆しがなく進んでいます。特に人口のは、止まる兆しがなく進んでいます。特に人口の地域づくりという機会をうまく活用してさまざま 盤の再整備という機会をうまく活用してさまざま 盤の再整備という機会をうまく活用してさまざま な公共事業を展開すること、あるいは住みやすい地域づくりということで種々の施策を展開しているという報告がありました。 日本の人口減少社会 孝治町長お願い致します。

■東栄町長 村上孝治氏



次総合計画を策定し、町 では、平成28年3月に人 では、平成28年3月に人 口ビジョン総合戦略第6

まちづくりを法的に保証して事業を進めています。栄町まちづくり基本条例」を制定し、町民主体の年半にわたる議論を重ね、平成30年4月には「東民主体のまちづくりを進めてきました。町民と2

大口減少、少子高齢化が進むなかで、2園ある人口減少、少子高齢化が進むなかで、2園ある人口減少、少子高齢化が進むなかで、医療センまた、町民が安心して暮らせるように、医療センまた、町民が安心して、新しい保育園を整備します。保育園を1園化して、新しい保育園を整備します。保育園を1個化して、新しい保育園を整備します。

平成29年度に、振草川の鮎が全国大会でグラン平成29年度に、振草川の鮎が全国大会でグランを悪り、そういった動きをさらに進めていきたい増えています。移住者が移住者を呼ぶという流れる状況です。また、移住者による飲食店の開業もしており、今年は鮎の売り上げが4倍になっていしており、今年は鮎の売り上げが4倍になっていも、次です。

地を回る循環バス路線の構築と、各地区にある「お きたいと思います。具体的には、 ぎ、年をとっても満足できる暮らしを保障してい るために、 落カルテを基に地域住民による地域デザインの構 そして周辺集落との交通ネットワークの確保、集 支える小さな拠点づくりの計画を策定、推進して 2300人へ修正しました。今後は、 での2040年の想定人口を、2100人から いでん家」をつなぐ新たな交通手段の確保を目指 築を進めます。便利で使いやすい仕組みを整備す 日常生活に必要な機能やサービスの集約・確保、 いきます。人口が減っても使いやすい町を目指し、 これまでの取組みや出生率等から、 公共施設を集めた各地区の拠点とつな 東栄駅から中心 地域生活を 総合戦

ターン者をさらに呼び込み、新たな町のにぎわいら鳳来峡ICへの接続をチャンスとして、U・I間間が一部供用開始されます。さらに東栄ICか

思います。
思います。
思います。
といったまちづくりに必要な資源を
が、モノ、金といったまちづくりに必要な資源を
が、モノ、金といったまちづくりに必要な資源を
基本計画を策定し、目的を達成するために必要な
基本計画を策定し、目的を達成するために必要な
基本計画を策定し、目的を達成するために必要な

ら第二段階の取組みを進めていきます。さな拠点づくり)プロジェクトとして、来年度かけることができる町を目指し、東栄町未来戦略(小して、これからも安心して楽しく便利に暮らし続いきます。これまでの政策を基に町の元気を増やいきます。これまでの政策を基に町の元気を増やいたが減少すると、暮らしの困りごとが増えて

- 大西氏

■豊根村長 伊藤 実氏



一緒に選挙が行われるたも2月6日までとなりまも2月6日までとなりませた。3月24日に議会とした。3月24日に議会と

なることをお許し下さい。の中で骨格的な予算となるため、抽象的なお話に算を編成しているところですが、そのような状況め、約1ヶ月半の空白期間があります。新年度予

確実に実施していきます。 私どもの地域では、課題が山積しています。今 私どもの地域では、課題が占うこと、行政が行うこと、住戦略は5年目、観光アクションプランは6年目と戦略は5年目、観光アクションプランは6年目と戦略は5年目、観光アクションプランは6年目と戦略は5年目、観光アクションプランは6年目となります。今

このような被害はいつ起こるか分かりません。ま 昨年7月の豪雨と台風21号、24号で豊根村は大き 含め生活の見直しをしっかりと行い、将来に続け 同じことはいつまでもできません。行財政改革に る村を武器にした村づくりを進めていきたいと思 ます。三点目は、環境にやさしい村を目指します。 た、今後想定される南海トラフ地震への対応を含 な被害を受けました。特に最近は異常気象があり 域支援を行い、教育の充実を図ります。二点目は を支えるのは人です。支える人をつくりながら地 ていきたいという思いです。 しっかりと取り組まなければなりません。住民も 人を切るだろうという人口推計の中で、今までと 1200人を切っています。10年後には1000 います。四点目について、今、豊根村の人口は 人にやさしい、環境にやさしい、資源を大切にす め、災害に強い地域づくりと防災力の強化を図り 一点目は、人づくりについてです。やはり地域

私どもは、第6次総合計画で村づくりビジョン 私どもは、第6次総合計画で村づくりビジョン などもは、第6次総合計画で村づくりビジョン などもは、第6次総合計画で村づくりビジョン

大西氏

く整理しているのが印象的でした。 合っていくのかということを中心に、分かりやすができるのか、あるいはお互いがどのように助けついて、住民自身の行動指針としてそれぞれで何料では、最後にお話のあった豊根村の将来目標に料のがとうございました。皆さんのお手元の資

8人の首長さんからそれぞれ年頭に当たっての名人の首長さんからそれぞれ年頭に当たってお話いただきました。選挙の年でもあり、今の段階ではただきました。選挙の取組み方針についてお話いた。

町民、村民の生活と

町民、村民の生活と

の特産品を生かした新しい産業起こしにも重連携について強調されていました。また、それぞ連携について強調されていました。また、それぞ連携について強調されていました。

を始めとする学校 校を始めとする学校 の整備、高齢者のための施設整備等、い ろいろなところに目 このでした施策を展 開しているという印

日本の自治体全体が日本の自治体全体が大口という点において、厳しい環境に置かれています。このかます。このが集まって議論する



8 市町村長による パネルディスカッション

M

DGsとSDGsは何が違うのかというと、

でお互いが不足しがちなところをそのような中でお互いが不足しがちなと思います。そういった意味では、県の広域自治と思います。そういった意味では、県の広域自治と思います。そういった意味では、県の広域自治と思います。そういった意味では、県の広域自治と思います。そういった意味では、県の広域自治は、議論だけではなく三遠南信という県をめたしての役割も大きくなってくるでしょう。この地域は、議論だけではなく三遠南信という県を超えた連携も実施しています。そのような中でお互いが不足しがちなところをする必要があると感じました。

をテーマにご発言いただきます。可能な開発目標SDGSの達成に向けた取組み」第二部に入りたいと思います。第二部では、「持続をれではここで一つの区切りを付けて、後半の

※持続可能な開発目標(SDGs)

に関する資料

本号16ページに掲載

2015年に国際連合で採択されたSDGsは、2000年から2015年に達成しようとしてい2000年から2015年に達成しようとしていたMDGsの成果を受け継いでいます。SDGsたMDGsはよく似ており、いろいろなテーマがや都市の充実、地球環境を含めた環境問題というテーマに整理できると思います。人類として取り組まなければならないこと全てがその中に入っているといえます。

SDGsは、持続可能な開発目標と訳されていることでもあります。とだと普段から思っていることでもあり、先で言われてもぴんとこないということもあり、先で言われてもぴんとこないということもあり、先のテーマを挙げていくと、それは皆が必要なことだと普段から思っていることでもあります。

体的な成果を求めています。 とです。目標そのものにはありませんが、これを とです。目標そのものにはありませんが、これを です。目標そのものにはありませんが、これを とです。目標そのものにはありませんが、これを とです。目標そのものにはありませんが、これを とです。目標をのものにはありませんが、これを

SDGsの目標を自分たちの施策の中で進めていく必要があるということです。単にSDGsという観点から見るとこのように説明できるというだけではなく、国際的な取組みの一環という意識を持ち、数値目標にも目配りしながら一つ一つの施策を進めていく主体的な取組みが必要だという気がします。日本政府も、SDGs未来都市やSDがします。日本政府も、SDGs未来都市やSDがします。日本政府も、SDGs未来都市やSDがします。日本政府も、SDGs未来都市やSDがします。日本政府も、SDGs未来都市やSDがします。日本政府も、SDGs未来都市やSDがします。日本政府も、SDGs未来都市やSDがします。日本政府も、SDGs未来都市やSDがします。日本政府も、SDGs未来都市やSDがします。日本政府も、SDGs未来都市やSDがします。日本政府も、SDGs未来都市やSDがします。

極めて大きなテーマです。ここでは、とりわけ 等も勘案して、SDGsの17の目標の中からあら ぞれの自治体の置かれている状況、地理的な条件 かさをどのように守るのか、これは日本にとって されています。そのような問題を含めて、 害を与えるなど、海を舞台にいろいろな事が指摘 るいはマイクロプラスチックが循環して人間にも ということです。クジラを捕獲していいのか、あ ろう」とあります。これは持続可能な開発のため かじめコメントしていただくテーマをお願いして 組みをテーマに進めていきたいと思います。 に縁が深い蒲郡市と田原市にお話を伺います。 に、海洋資源を保全して持続可能な形で利用する います。SDGsの14番目には、「海の豊かさを守 そのような前置きをして、SDGsに向けた取 海の それ

れでは、蒲郡市の稲葉市長お願い致します。

蒲郡市長 稲葉正吉氏

こうということで、表現が変わってきました。から、魚や貝が育つような栄養のある海にしていています。魚や貝類の漁獲量が激減していることわれていましたが、最近は「豊かな海」と言われ三河湾は、以前は「きれいな海」にしようと言

す。また、西浦や隣の西尾市の幡豆地区でも、 干狩りも貝が育たないという嘆きを聞いていま 上げるよう取り組んでいます。 トロールが難しいのですが、 望がありました。農業の肥料の三要素である「窒 年末に漁業協同組合から、浄化センターで浄化 サリの不漁が言われています。そのような中、 河大島でのアサリは4年程休漁し、 しているため、薬物処理の場合と違い非常にコン かということです。実は蒲郡市の浄化センターで て排出する水のリン濃度を上げて欲しいという要 最終的なリンの濃度を微生物でコントロー リン酸、 蒲郡市内のアサリは激減しています。 海苔やプランクトンが育つのではない カリ」のリンです。リンを増やすこ 徐々にリンの濃度を 竹島での ア 昨 潮

を行いました。三重大学の柴田准教授に分析を を行いました。三重大学の柴田准教授に分析を 他で捕れるマイワシの約2倍のEPAを含んでい ることが判明しました。EPAとは、血液をサラ ることが判明しました。EPAとは、血液をサラ ることが判明しました。EPAとは、血液をサラ ることが判明しました。ビアAとは、血液をサラ ることが判明しました。ビアAとは、血液を分析 を行いました。三重大学の柴田准教授に分析を

海をより豊かにし、多くの方に三河湾の魚を食

師が増えるような施策を展開できればと思います。べていただき、漁師の皆さんが繁盛してさらに漁

■大西氏

原市の山下市長からお願い致します。 続いて、地域のほとんどを海で囲まれている田

田原市長 山下政良氏

産業化の取組みも進めています。 一つの観点から、「海の豊かさを守ろう」についてで 大めに、捕る漁業から育てる漁業へと転換を図り、 大めに、捕る漁業から育てる漁業へと転換を図り、 この養殖が、太平洋側ではシラスが盛んで、漁獲 苦の養殖が、太平洋側ではシラスが盛んで、漁獲 古の養殖が、太平洋側ではシラスが盛んで、漁獲 古の養殖が、太平洋側ではシラスが盛んで、漁獲 大めに、捕る漁業から育てる漁業へと転換を図り、 についてで

一つ目は、環境についてです。子どもたちが海 二つ目は、環境についてです。子どもたちが海 二つ目は、環境についてです。子どもたちが海 二つ目は、環境についてです。子どもたちが海

動を行っています。毎年10月に2日間かけて実施助を行っています。毎年10月に2日間かけて実施のゴミを捨いました。魚よりもゴミの方が取れるのゴミを拾いました。魚よりもゴミの方が取れるのは悲しいことです。市民の有志でつくる渥美半のは悲しいことです。市民の有志でつくる渥美半のは悲しいことです。市民の有志でつくる渥美半のは悲しいことです。東年10月に2日間かけて実施しる。大平洋側の四つの校区が、表浜の素晴らしさす。大平洋側の四つの校区が、表浜の素晴らしさす。大平洋側の四つの校区が、表浜の素晴らしさず。大平洋側の四つの校区が、表浜の素晴らして、昨年で第21回を

きています。
さいただいており、きれいな海岸を保つことがで業、サーファーの方々に定期的に海岸清掃を行っ業、サーファーの方々に定期的に海岸清掃を行っしました。その他にも、さまざまな市民団体や企し、これまでに1万3000人以上の方々が参加し、これまでに1万3000人以上の方々が参加

また、岐阜県から川を流れて伊勢湾に、そしてな活動も、地域活性化につなげていきたいと思いいただいています。海の美しさを維持し、次の時り、岐阜県の中学校の方々にも清掃活動を行っていただいています。海の美しさを維持し、次の時代に継承することが私たちの務めです。実際に岐阜県な活動も、地域活性化につなげていきたいと思いな活動も、地域活性化につなげていきたいと思いな活動も、地域活性化につなげていきたいと思いな活動も、地域活性化につなげていきたいと思いな活動も、地域活性化につなげていきたいと思いる話がある。

大西氏

目標について、新城市の穂積市長お願い致します。2人の首長さんにお話いただきました。海があれ2人の首長さんにお話いただきました。海があれば陸があります。目標の14番は海ですが、15番はば陸があります。目標の14番は海ですが、15番はば陸があります。目標の4番は海ですが、15番はば陸があります。目標の4番は海ですが、15番はがあります。

■新城市長 穂積亮次氏

いこうという考えです。

をしたいと思います。 今日はこのような機会ですので、私から話題提供今日はこのような機会ですので、私から話題提供目標としています。これは非常に厳しい目標です。 SDGsでは、2020年までに持続可能な森

だいています。その期限の切れる平成38年度から震災後の復興税として、国民一人当たり千円いたから森林環境税が導入されます。現在、東日本大新聞等でも話題になっているように、平成38年

円程度の規模になりますが、最初はその何分の1保つことがで として交付されます。最終的には全国で600億岸清掃を行っ で担保をして、都道府県市町村に森林環境譲与税の方々が参加 それをそのまま継承する形で森林環境税が創設さ

ずつで始まります。

単位に、水利用、治水などを含めた環境を守って です。森林所有者には森林管理経営計画の策定 寄って、流域の森林を守るための手立てを作って り上げたため、地方公共団体で全員が財布を持ち きました。東三河広域連合という一つの母体を作 合で一括管理して、共同運用してはどうかと提案 森林環境、河川環境、陸地の生態系の保全のため と生煮えの状況です。しかし逼迫した状態のため、 るのか、どのように使うのか等、議論はいろいろ か、森林の少ない都市部にはどのように配分され があり、森林環境税は果たして本当に使われるの す。これによって、これまでの森林の施業体系が が義務付けられることから、経営意思のない しているところです。日本では、主として流域を に有効に使っていかなければならないものです。 大きく変わると考えられます。まだまだ賛否両論 森林等々について公的な手当てをするということ 現在、森林環境税関連の税財源を東三河広域連 森林環境税の趣旨は、簡単に言うと放置され 市町村等の公的な管理に移すこともあり得ま

8 市町村長による パネルディスカッション

たと言えるような形になると嬉しく思います。モデル的に森林環境税を使って森林環境を整備し

大西氏

思いました。
思いました。

ここまで環境問題についてお話いただきましたが、SDGsの最初には貧困撲滅、あるいは世が、SDGsの最初には貧困撲滅、あるいは世界の全ての人々が最低限の生活ができるようにといった目標が並んでいます。世界を相対的に比較したときに、日本では直接イメージするのはなかなか難しい問題です。その中で、豊橋市は途上国の水資源、特に安全な水の確保やトイレの普及に尽力しておられます。豊橋市の佐原市長から、「安全な水とトイレを世界中に」という観点からお話な水とトイレを世界中に」という観点からお話なが、SDGsの最初には貧困撲滅、あるいは世が、SDGsの最初には貧困撲滅、あるいは世が、SDGsの場が、

■豊橋市長 佐原光一氏

の上下水道局のメンバーにより、スマトラ島にあ 豊橋市はインドネシアのスマトラ島で水道事業の 支援を行っています。当地のある会社の会長さん が、インドネシアとのつながりが深かったところ から始まった事業です。実際に始めてみると大変 から始まった事業です。実際に始めてみると大変 から始まった事業です。実際に始めてみると大変 な取組みではありましたが、現地で豊橋技術科学 な取組みではありましたが、現地で豊橋技術科学 な取組みではありましたが、現地で豊橋技術科学 な取組みではありましたが、現地で豊橋技術科学 な取組みではありましたが、現地で豊橋技術科学 な取組みではありましたが、現地で豊橋技術科学 な取組みではありましたが、現地で豊橋技術科学 な取組みではありましたが、現地で豊橋技術科学

日本の水質水準をしっかりと守れるだけの技術移日本の水質水準をしっかりと守れるだけの技術移时。で運転してきました。私たちは多少の指導をするだけで、彼らは無事に一年間しっかりと運転し、住民に日本の水質の水を供給することが出来ています。軟水のため、お茶をたてると日本の水より美味しいかもしれません。

そのようなことを通じて、地域にこれからも安心 う進めていきます。この事業を進めるためには、 それをスマトラ島の全土に広げることで、現地の 声を掛けていただいています。私たちにはまだ最 豊橋方式で私たちの水道事業も改善して欲しいと 非皆さまのご協力をお願い致します。 り飛躍し、日本の水メジャーになっているという きます。私の初夢は、豊橋市の上水道の技術がよ となり、技術者の技術力向上にも役立っています。 私たちの技術力の維持・向上も併せて求められま が指導した町の技術者を介して広めます。そして 町が所属する西スマトラ州の約16都市にわれわれ 初の町で現地の水を各家庭に届ける仕事が残っ できる水をしっかり届けられる体制を維持してい おり、来年度からは北設に広げていく予定です。 使っています。われわれにとっては原点を学ぶ場 す。現地では、 人たちが安心して飲むことができる水を届けるよ ているため、その仕事を進めながら、まずはこの この流れを受けて、スマトラ島の全都市 「年後の夢でした。この夢を実現できるよう、 東三河においても、田原市に浄水の協力をして ある意味で非常に古典的な技術を から、 是

一大西氏

に強い関心を持ちました。日本の技術には、さま今のお話は大学でもしていただき、学生も非常

ていく必要があるのではないかと思います。ように世界の人に使ってもらうのか、真剣に考えをとらない技術があるということで、それをどのについても、フランスの水メジャーに決して引けざまな移転があります。このような公共的な技術

日本でも、非常に大きな課題である経済成長やています。8番目は、「働きがいも経済成長、全ての人々にいうことで、持続可能な経済成長、全ての人々に生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を生むことがテーマになっています。経済成長も」といます。それでは豊根村、豊川市、設楽町にお話を伺用について、豊根村、豊川市、設楽町にお話を伺用について、豊根村、豊川市、設楽町にお話を伺います。それでは豊根村の伊藤村長からお願い致します。

■豊根村長 伊藤 実に

私どもの地域は93%が森林で、森林を生かした地域でした。最近では、森林に代わる産業として、地域でした。最近では、本れはダメこれもダメとれはないこれはない、あれはダメこれもダメとれないこれはない、あれはダメこれもダメとれないこれはない、あれはダメこれもダメとれないではなく、今ある資源をどこれはない。

例えば、茶臼山高原はスキー場がにぎわっています。これが成功すれば、シバザクラに代わる冬ますが、スキー場ができる前は、働く人は冬に失いな水を利用して、チョウザメの養殖に取り組んいな水を利用して、チョウザメの養殖に取り組んいな水を利用して、チョウザメの養殖に取り組んいな水を利用して、チョウザメの養殖に取り組んかぶっても咲くスノーチューリップを植栽しています。これが成功すれば、シバザクラに代わる冬ます。これが成功すれば、シバザクラに代わる冬ます。これが成功すれば、シバザクラに代わる冬ます。これが成功すれば、シバザクラに代わる冬ますが、スキー場がにぎわっているでは、茶臼山高原はスキー場がにぎわっているでは、大田山高原はスキー場がにぎわっているでは、大田山高原はスキー場がにぎわっているでは、大田山高原はスキー場がにぎわっているでは、大田山高原はスキー場がに変われる。

このような事業を進めることによって、地域

経済が潤い、通年雇用も生まれます。そのような経済が潤い、通年雇用も生まれます。のところですが、そのような思いで取り組んでいあるものをどれだけ生かすことができるのかといめるところですが、そのようなところです。

- 大西氏

次は、豊川市の山脇市長お願い致します。用あるいは産業を生んでいこうということでした。で生産可能な植物資源をうまく使い、新しい雇スノーチューリップのお話がありました。地域

■豊川市長 山脇 実氏

昨年、東三河懇話会の50周年記念事業における講演会で、元通商産業省事務次官の福川氏から書は技能オリンピックにおいて日本の若者が多くのメダルを獲得していましたが、現在では少なくなってしまい、海外における日本の若者が手常に少なくなってしまっており、目立たなくなってしまったおける日本の若者が非常に内向きになっていることが残念だというお話が大変印象的でした。そのハングリー精神がなくなっているのではないかというご指摘がありましたが、そういった要因もひとつであると思いました。

は小さい頃から大変な苦労を重ねられて現在の地までの彼のエピソードが多く語られています。彼次徳二さんのお話が新聞で連載されており、これカレーハウスCoCo壱番屋の創業者である宗

位を築いていますが、具体的には幼少の頃に養子に出され、また、食べるものにも苦労する生活を送っていたため、小学生の頃からアルバイトをするなど多くの苦労を重ねた結果、日本全国にとどまらず、世界へ事業を拡大するなど大きな成功をすらず、世界へ事業を拡大するなど大きな成功をするということです。皮肉な話ではありますが、見かには幼少の頃に養子に出され、また、食べるものにも苦労する生活を

「働く場所」の環境整備に努めて参ります。との原点を振り返り、広い視野、強い意志を持っとができるよう「ハングリー精神の必要性」を伝とができるよう「ハングリー精神の必要性」を伝とができるよう「ハングリー精神の必要性」を伝とができるよう「ハングリー精神の必要性」を伝とができるよう「ハングリー精神の必要性」を伝とができるともに、若者にとって働きがいがあると感じられ、それぞれの成長を培うことができるという。

■大西氏

これから日本はそう豊かになることはできず、 されから日本はそう豊かになることはできず、 が世代に伝えていくということが必要かもしれまい世代に伝えていくということが必要かもしれません。広い世界の中で、一人でも活躍できるようなたくましい世代をつくることも大事です。山脇市長から示唆に富んだお話をいただきました。続いて、設楽町の横山町長お願い致します。

■設楽町長 横山光明氏

て運用をしているところです。設楽町の今までのに第2次設楽町総合計画を立てて、これに基づい設楽町は、2017年から2026年の10年間

産業に視点を当てて考えてみると、木材の生産が活発な時代でした。何を置いても日本の国産材は黙っていても売れ、これがベースとなり大きな潤黙っていても売れ、これがベースとなり大きな潤黙っていきます。これを何とか食い止める、まを辿っていきます。これを何とか食い止める、また向上志向で持っていこうと努力しているところです。

併せて、新しいまちづくりとして、今までにななると思います。

地元の文化振興、そして地元の産品の販売促進に 原動力となることを期待しています。雇用創出や 拠点の整備を進め、2021年春のオープンを目 ちづくりのための組織を発足したいと思います。 けていきます。これらのアクションプランを支え ション、地域が起こすアクション、町が起こすア るための施策が必要だと考えています。 運営に取り組んでいただくことで、地域活性化の 指します。さらに地元の住民の力で道の駅の経営 料館のように、大勢の人たちが集まってにぎわう る中間支援組織として、町の観光の中心になる観 クションの三つを掲げて、地域資源として位置付 つながるということで、持続可能な観光を促進す 光協会等のリニューアルを図り、新たな観光のま これから町の中心地となる道の駅や歴史民俗資 設楽町の目指す方向として、住民が起こすアク

8 市町村長による パネルディスカッション

大西氏

な転換期にあると感じました。ようにして町の発展に活用するのか、非常に重要という非常に大きな変化が訪れます。これをどの設楽町では、これから公共事業のダム湖の出現

ます。東栄町の村上町長からお願い致します。というテーマで、東栄町と蒲郡市からお話を伺いて挙がっています。「すべての人に健康と福祉を」祉の促進という世界人類共通のテーマが項目とし続いて、目標の3番目には、健康的な生活や福

■東栄町長 村上孝治氏

生きと暮らすことが基本です。先ほどの第一部生きと暮らすことが基本です。先ほどの第一部生きと暮らすことが基本です。先ほどの第一部生きと暮らすことが基本です。先ほどの第一部生きと暮らすことが基本です。先ほどの第一部生きと暮らすことが基本です。先ほどの第一部生きと暮らすことが基本です。先ほどの第一部生きと悪います。

平成30年3月に、地域包括ケアシステムをまと で成30年3月に、地域包括ケアシステムをまと でまざまな関係機関との協力関係を整理してきま さまざまな関係機関との協力関係を整理してきま とれ。町内の12校区に整備している高齢者等の生 した。町内の12校区に整備している高齢者等の生 もなっています。今後は、多世代交流の場として、 もなっています。今後は、多世代交流の場として、 もなっています。今後は、多世代交流の場として、 サ難民救済のための移動販売車の立ち寄り場所に
もなっています。今後は、多世代交流の場として、
もなっています。今後は、多世代交流の場として、
もなっています。今後は、多世代交流の場として、
さまざまな関係機関との協力関係を整理してきまさまざまな関係機関との協力関係を整理してきまさまざまが、
はまれています。

医療については、病院施設の老朽化への対応や、

ていく必要があると考えています。と療人材の確保に課題を抱えています。これは東にたいては、現在進めている広域連合も含め、国や県と共に健康に暮らすための環境確保に向けて引き続共に健康に暮らず、全国的な課題でもあります。医療人材の確保に課題を抱えています。これは東

大西氏

葉市長お願い致します。同じく健康と福祉というテーマで、蒲郡市の稲

■蒲郡市長 稲葉正吉氏

満郡市では、健康づくりに取り組んでいます。 その背景となるのは、ちょうど私が市長に就任した平成23年のことです。特定健診の結果によってた平成23年のことです。特定健診の結果によって下最低の4・8%、メタボリックシンドロームと下最低の4・8%、メタボリックシンドロームと下最低の4・8%、メタボリックシンドロームといあ字でした。併せて、国民健康保険の治療に関い数字でした。併せて、国民健康保険の治療に関い数字でした。併せて、国民健康保険の治療に関いない。

これは何とかしなければということで、まず取り掛かったことは、糖尿病について真剣に考えていただくことでした。糖尿病が重症化すると、人いただくことでした。糖尿病が重症化すると、人性しました。スマート・ライフ・ステイニ清郡と催しました。スマート・ライフ・ステイニ清郡と借しました。スマート・ライフ・ステイニ清郡として、蒲郡の旅館に1泊して講座を受けていただき、運動をして、板前さんの協力でヘルシーな料き、運動をして、板前さんの協力でヘルシーな料き、運動をして、板前さんの協力でヘルシーな料き、運動をして、板前さんの協力でヘルシーな料き、運動をして、板前さんの協力で入りました。

をなります。体となります。体性康を意識するとは、 一日は食べ過ぎた、 今日は減り過ぎた、 今日は減り過ぎた、 といったように、 といったように、 といったように、 といったがして健 体重を意識して健 体重を意識して健

また、蒲郡市の 特異的な取組みと を対象にピロリ菌 を対象にピロリ菌 を対象にピロリ菌 で負担していま す。胃がんの一番 す。胃がんの一番 でにピロリ菌を駆除を公 では、ピロリ がと言われていま では、ピロリ がと言われていま では、ピロリ がと言われていま

いろいろな健康づくりに取り組んでいるところでいろいろな健康づくりに取り組んでいるところで、ら解放されることにもつながります。このように、の人がいなくなり、医療費の削減やがんの苦痛か

郡市からは胃がん



ざまな施策を伺いました。非常に徹底した、さまる健康づくりの話でした。非常に徹底した、さま東栄町の地域包括ケアシステムと蒲郡市におけ



■田原市長 山下政良氏

先ほどご紹介したように、昨年は「ワールドサースに近を関います。そして移住者の雇用環境をものにしないということが、田原市の「サーフタウン構想」です。全国有数のサーフスポットであられて、か建設を進めることで、サーファーの移住定住をの健進を図ります。そして移住者の雇用環境を整えることによって、地域産業の担い手の確保にもつながると考え、移住と仕事をつなげる事業をもつながると考え、移住と仕事をつなげる事業を行っていきたいと思います。

いと思います。

サーファーや若者、子育て世代の移住を促進す
いと思います。。
なげ、持続可能なまちづくりにつなげていきた
での事業によって、それぞれを田原市の活力へと
型市場調査を実施し、アイデアを募集しています。
者の意見を聞いて提案を求めるサウンディング
ターゲットに検討しています。現在は、民間事業
ターデットに検討しています。現在は、民間事業

伊良湖岬をはじめとする渥美半島の観光、全国ナ最後に、実は伊良湖岬もサーフスポットです。

についても皆さまの応援をお願い致します。 集積をしっかりと支えるためには、交通ネットワークの充実が必要です。田原市は、大半が東三ワークの充実が必要です。田原市は、大半が東三の大勢を含めて、安全で快適なまちづくりを進めるためにも道路整備が必要です。田原市は、交通ネットリークの充実が必要です。田原市は、交通ネットリークの充実が必要です。

■ 大西氏

て、豊根村の伊藤村長お願致します。ばなりません。是非よろしくお願いします。続いてはいけません。東三河全体で一つにならなけれてはいけません。東三河全体で一つにならなけれ

■豊根村長 伊藤 実氏

方を基本に進めていきたいと思います。 関わってもらえるような地域であること。この三とは自分たちで決めることができる地域をつくるとは自分たちで決めることができる地域をつくるとはであるために、私たちは小さいことを生かし

そのためには、やはり仕事をつくって安心して、住み続けられる地域づくりに取り組んでよって、住み続けられる地域づくりに取り組んでよって、住み続けられる地域づくりに取り組んでよって、住み続けられる地域づくりに取り組んでよって、住み続けられる地域づくりに取り組んでよって、住み続けられる地域でしっかりとって安心して

うな形でも構いませんが、皆でフォローしていくに入りにくい地域です。そういった面で、どのよが、私どもの地域は、民間の事業者や投資が非常前にもこの場でお話したことがあると思います

を取得して移住された方に対して補助金を交付す

れば有難く思います。必要があります。皆さまの支援を賜ることができ

大西氏

東三河には、いろいろな所に民間企業が立地します。東三河には、いろいろな所に可能性をよく見渡していただき、いろいろな所に可能性をよく見渡していただき、いろいろな所に可能性をよると思います。交通の便利さが増すにつれてま三河には、いろいろな所に民間企業が立地します。

■豊川市長 山脇 実氏

度を開始しました。市の指定する中心地域に家屋 ことを目的として、豊川市まちなか居住補助金制 図るとともに、定住促進による地域活性化を図る 用していただき、災害に強いまちづくりを進め、 維持できるようなまちづくりを進めていくことが 害が発生した際においても、都市としての機能を 度の維持等に向けたコンパクトシティへの推進を 成28年度に策定し、都市機能の適正配置や人口密 ちづくりの方向性を示す「立地適正化計画」を平 安全対策をしっかりと進めていきたいと思います。 定しています。防災訓練や防災教育の場として利 の建設に着手しており、今年の9月中の完成を予 市民を守り、危機管理体制の強化を図るため、豊 不全に陥ることのないよう、 重要であり、 必要であると痛切に感じております。大規模な災 川市では、市役所の敷地内において、防災センター 本市においても被害が発生したため、災害対策が また、本市では「持続可能な都市」に向けたま 年は台風や災害が多く発生した年でもあり、 大規模災害の発災時においても機能 大規模な災害等から

8 市町村長による パネルディスカッション

た。来年度からは、これに加え医療、商業といった。来年度からは、これに加え医療、商業といったを長期的な視点での施策の実施により、立地適した長期的な視点での施策の実施により、立地適した長期的な視点での施策の実施により、立地適した長期的な視点での施策の実施により、立地適した長期的な視点での施策の実施により、立地適した長期的な視点での施策の実施により、立地高級を維持する目標を掲げておりました。

ります。 引き続き人口の維持に努めて参りたいと考えておりき続き人口の維持に努めて参りたいと考えてお

一大西氏

町長お願い致します。
い大事な施策だと思います。次は、設楽町の横山組む必要があり、かつすぐに始めなければならなりにつながるお話だと思いました。長期的に取り

■ 設楽町長 横山光明氏

高齢者まで、住みやすい環境を提供できる住生活きく減少しています。今から約6年前に設楽町がきく減少しています。今から約6年前に設楽町がきく減少したときの人口は、約1万5000人でした。した。このように大きく人口減少に歯止めがかからない少子高齢化が進み人口減少に歯止めがかからない少子高齢化が進み人口減少に歯止めがかからないということで、将来の存続が危ぶまれています。し続けることができるような、暮らしやすい環境の増加と、今住んでいる人が将来にわたって暮らの増加と、今住んでいる人が将来にわたって暮らし続けることができるような、暮らしやすい環境の提供は絶対条件です。設楽町では人口が大きく減少しています。

に取り組んでいます。の環境整備や、交通環境の整備に関わる各種施策

具体的な施策の一つとして、夫婦の合計年齢が 具体的な施策の一つとして、夫婦の合計年齢が 具体的な施策の一つとして、夫婦の合計年齢が 具体的な施策の一つとして、夫婦の合計年齢が は、新築住宅助成金として200~ を11区画の土地は全て売れました。若い人た た、全11区画の土地は全て売れました。若い人た ちが町に残り、またここで家を建てて、将来もこ の町に住み続けてもらう状況を作り上げていきた の町に住み続けてもらう状況を作り上げていきた

ことを期待しながら進めていきたいと思います。を図り、若い人たちが町に住み続けていただける予防接種無料化等、暮らしのための費用の軽減化健康づくりの面でも、健康診断やインフルエンザは、まずの医療費無料化を進めていますが、町ではいると聞いていますが、町ではいるというで、

■ 大西氏

致します。 した。同じテーマで、東栄町の村上町長、お願い 住み続けられるまちづくりという観点のお話で

■東栄町長 村上孝治氏

するという点において注意が必要だと思います。交通と、さまざまな分野にまたがって行うもので、一つの課題だけを考えてもいけません。また、なかなかできません。まちづくりにおいては、人、なかなかできません。まちづくりにおいては、人、なかなかできません。まちづくりにおいては、人、なかなかできません。まちづくりは、福祉、医療、教育、産業、公共まちづくりは、福祉、医療、教育、産業、公共

第一部でお話したとおり、人口は減少していますが移住者が増えています。移住者が開業した飲食店等も増え、移住者が移住者を呼ぶといった動きもあります。そのような小さなきっかけを大ききもあります。そのような小さなきっかけを大ききもあります。そのようないと情報を共有しながら、一体となって取組みを進める必要があると思っています。このようなを進める必要があると思っています。このような世組みを整備するなど、さまざまな町民参加の指標を用意して、持続可能な地域発展につなげていままたいと思います。

大西氏

外部からの移住者が増えてきている東栄町からの穂積市長、お願い致します。

■新城市長 穂積亮次氏

SDGsでのパートナーシップについてお話したいは、内なるパートナーシップについてお話したいいった問題が広範に含まれています。新城市から進国の間のパートナーシップや、所得の再分配とパートナーシップは、グローバル

育料の無償化を始めますが、新城市では昨年度かも取り残さない」ということです。今年は国が保SDGsの基本的な理念を簡単に言うと、「一人

いう強い決意です。 いう強い決意です。 いう強い決意です。

テーマだと思っています。

ものが、財源の前に人手のところで欠落するリス もかかわらず、 も出さない、一人も取り残さない社会をつくるた をつくり出していくということにチャレンジした る社会的評価を確立する福祉人材、支え合う人材 職種の貴賤なく対等に議論し合い、 分野に携わる人々が、上下の序列や男女の違いや を解決するために、福祉・医療などあらゆる福祉 クにわれわれは直面しています。そういった問題 に離職率が高く、社会保障制度の持続可能性その 会的評価が圧倒的に低いのが現状です。そのため めのつなぎ目の役割を果たしてくださっているに 福祉の人材や医療に関わる方々は、一人の孤立者 齢者福祉、児童福祉など、あらゆる分野に携わる 福祉円卓会議を設けました。障害者福祉、介護高 今日も地元紙で報道されましたが、新城市では 負っている責任や使命に比べて社 やりがいのあ

の強化につなげていきたいと思います。そして内なる国際化も含めて、パートナーシップ外国人労働者が増えていくこと、観光客の増大、そのような流れをさらに強力に促進しながら、

大西氏

原市長お願い致します。いかと思いますが、地域の中のパートナーシップとると思いますが、地域の中のパートナーシップとると思いますが、地域の中のパートナーシップと

■豊橋市長 佐原光一氏

小さな世界でも、例えば夫婦や親子、それぞれの市町におけるコミュニティなど、いろいろな段長がおっしゃったように、それぞれがお互いを認め合うことで、お互いが支え合う以上に高め合っめ合うことで、お互いがすえ合う以上に高め合っとがおっしゃったように、それぞれがあると思います。

そのような中で、東三河広域連合を設立しました。東三河広域連合の設立にあたり最初にお話したことは、いろいろな地域が持つそれぞれのきらつ、お互いにリスペクトして、より高い所へ持っつ、お互いにリスペクトして、より高い所へ持った。、ただって、六本木ヒルズで開催されたイベント「エロティック東三河」で東栄町のアユをいた下、エロティック東三河」で東栄町のアユをいた下、エロティック東三河」で東栄町のアユをいた下、エロティック東三河」で東栄町のアユをいた下、上口ティック東三河」で東栄町のアユをいた下、上口ティック東三河」で東栄町のアユをいたがき、何よりもその美味しさに大変驚きました。本当に皆がいいものを持っていくと思います。

販売しています。例えば、われわれの力だけではれぞれのまちの農産物を持ち寄ってマレーシアで活動を続けていきます。私たちは、三遠南信でそ三遠南信という切り口でも、お互いに高め合う

みも行っています。 美味しいリンゴを現地に持っていくことで、力を高め合ってマレーシアのマーケッくことで、力を高め合ってマレーシアのマーケットに入っていくことができます。そのような取組トに入っていくことができます。そのような取組に入っていくことはできません。ところが三遠南信の力を持ち寄ることで、

■ 大西氏

らこらこらのGらはLPS)手弋からある古みが行われていることが改めて分かりました。だきました。それぞれの観点で、さまざまな取組SDGsを巡って、8人の首長さんにお話いた

間が豊かになるためには産業活動が必要で、やは1992年にリオで開催されたサミットが最初だと思います。大きく言えば、地球の環境問題について考えなければならないということでした。経いて考えなければならが、温暖化や砂漠化が進むのではないかと指摘されましたが、環境を守ることだけに力を注いでいいのかということでした。経とだけに力を注いでいいのかということです。人とだけに力を注いでいいのかということです。人とだけに力を注いでいいのかということです。

8 市町村長による パネルディスカッション

く間違っています。

相手は分かっていない可能

から相手も分かっているだろうというのは、

てもらうことが必要です。

自分が

やっているの

理

世界や国内の人に正確にアピールをして、

ウソをついてはいけませんが、

われわ

いち早く多言語で世界に向けて発信してい 韓国の自衛隊機への照射問題についても

彼らは

りと伝えることも必要だと思います。

最近の

動

済が発展しても富の分配が不公平で、 来るようにする社会的な公平性も大事です。 われることで、一人一人が一定レベルの生活が出 て働いて、 のでは、社会が不安定になります。 議論の中で大きなテーマとして出てきました。 論ではなかったかと思います。 スが必要だということが、 ·が非常に豊かでそうではない人がたくさんいる 経済を発展させることは必要だということも、 経済発展、 働けない人についても福祉の政策が行 社会的公平、この三つのバラン 世界共通で到達した結 皆が雇用を持っ 一部の人だ

あるいは世界の人が取り組んでいるのだからわ 地球人としては、 ではないかという心配もあります。全てが科学的 分担の観点も必要です。経済的、 われも取り組まなければならないといった、 いく必要があると思います。 のまま進行していくと不安があるということです に説明されているわけではないと思いますが、こ 指摘があります。 も環境の危機が非常に大きいのではないかという んでいるため、 組む必要があるという側面もあると思います。 れも取り組むので世界でも取り組みましょう、 日本は、 そしていろいろな形で進んできましたが、 協力についても、先進工業国の国民として取 自分たちの取組みを世界の人にしっ そうではない国の人々に対する支 出来る限りのことを取り組 温暖化が災害を増やしているの そのためには、 技術的に少し進 われ どう んで か

> とも必要だと思います。 もう一回見直すことも必要ではないでしょうか。 ていることが伝わっているのかという観点から、 れていました。 Sに関係することがいろいろな恰好で取り組ま あるため、 やはり理解してもらう努力をするこ 世界の人たちに、 今日のお話の中で、 東三河が頑張っ S D

G

が

を含めたいろいろな活動をするということで、 際に大学で取り組んでいる活動を先方に伝えて認 本部と大学が直接結びつく取組みです。SDGs ク・インパクトに登録しました。これは国際連合 られると、 昨年、私どもの大学では、国際連合のアカデミッ 広報部を通じて世界中の人がアクセ 実

8

ますが、 いと思います。 スできるようになっています。 私たちの取組みを世界に伝達していきた ささやかでは あ

形で、 町村の首長の皆さんには、 にお話いただきありがとうございました。 でお付き合いありがとうございました。 か良い年になるような気がしてきました。 とができるといいのではないかと思います。 事が出てくることもあると思います。 もらうことでリアクションがあり、 自治体や企業にお 今日のSDGsの議論をうまく発展するこ ても、 長時間に渡り議論中心 世界の人に理解 またやるべき そのような なぜだ 最後ま 8

「持続可能な開発目標(SDGs)」

・2015年9月、国連サミットで採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」を受けて、日本においても 推進本部が立ち上げられ、各自治体には「SDGs」への積極的な取り組みが求められています。





































平成 31 年 (第 49 回) 東三河8市町村長を囲む新春懇談会

東三河 8 市町村 平成 31 年の重点施策・

くりに邁進してまいります。 で以上に地域が一体となって、 晴らしいステージとなるよう、これま の皆様にとって夢と希望にあふれる素 な時代を迎えます。新しい年が東三河 本年は平成の時代が幕を閉じ、 まちづ 新た

理念を取り入れ、行政課題の解決や地 の整備による地球温暖化防止や循環型 みのほか、バイオマス利活用センター Gsに沿った様々な事業に取り組んで 続可能な東三河」を推進してまいりま 目指し、「持続可能な豊橋」、そして「持 入れ、誰もが安心して暮らせる地域を おきましてもこの理念を積極的に取り 域活性化に役立てています。新年度に 貧困対策など多くの施策にSDGsの 社会の推進、フードバンク事業による 保全活動などの国際貢献に資する取組 技術支援やボルネオ島での生物多様性 います。例えばインドネシアでの水道 世界の実現」を基本理念に掲げるSD 本市では、「誰一人取り残されない

豊橋ならではの農産加工品の開発と販 売を行います。 携するプラットフォームを立ち上げ、 道の駅「とよはし」内にあわせてオー プンする地域振興施設「Tomate [トマッテ)] を拠点とし、異業種が連 農業分野においては、今春開駅する

○ 未来に羽ばたく人づくり



【平成31年度の重点施策

未来(あす)をひらく元気づくり

生徒の学力と体力の向上を図るため 夢と確かな学力を持った人材の育成に 校へのスポーツトレーナー派遣による 小規模学校での合同授業を拡大するほ つながる学校教育を推進します。児童 未来を生き抜く力として、心豊かで 、学習用コンピュータの充実や中学

組みます。 人材育成、 産業インフラの整備に取り

盤の強化を図ります。 企業誘致にも積極的に取り組み産業基 ます。さらに産業用地の確保に努め、 創出や起業の促進を加速化してまいり な主体による連携を進め、新規産業の て、起業を目指す方や技術者など多様 続き行います。また、昨年オープンし 備投資や販路開拓などへの助成を引き た豊橋イノベーションガーデンにおい め、人材育成に係る支援のほか、設 中小企業のさらなる振興を図るた

シュレスに対応した社会への取組みを 進めます。 れぞれが付加価値を享受できるキャッ を踏まえ、この地域の市民と事業者そ また、国のキャッシュレス化の動向

○ 選ばれるまち豊橋の実現

します。

や日本語指導を行う初期支援校を充実 生活に溶け込めるよう、生活適応支援



ティプロモーションをさらに推進しま 移住や交流を進める取組みを実施しま き続き行うほか、本市の魅力を伝え、 す。テレビや映画のロケ誘致活動を引 本市の様々な魅力を磨き、発信するシ 定住・交流人口の増加を図るため、

ど多目的な活用ができる新アリーナ構 想の検討を進めます。 を呼び込みにぎわいを創出するため、 るとともに、スポーツによりまちに人 フロスポーツだけでなくコンサートな 「スポーツのまち」づくりを推進す

間もない外国人生徒がスムーズに学校

も力を注いでまいります。また、来日 めのプログラミング教育の環境整備に 施するほか、情報化社会に対応するた

ア・パラリンピック選手団の受入れの 出身アスリートへの支援や広報活動を 行うとともに、昨年決定したリトアニ ピックへ向け、大会出場を目指す本市 また、東京オリンピック・パラリン

豐 橋 市

*** 8 働きがいも 経済成長も 111







喫緊の課題である雇用確保をはじめ

るため、空調設備の設置や学校施設の 施します。また、学習環境の充実を図 体づくりへのアドバイスを引き続き実

計画的な改修、学校給食共同調理場の

再整備を進めます。

また、英語を学ぶ教育機会の拡大の

小学校低学年における授業を実

取り組みます。 ンとして登録のあるドイツ及びリトア 準備を進めるほか、本市がホストタウ ニアを中心に事前合宿誘致に継続して

賞することとなりました。本年におき の度「地域創造大賞」総務大臣賞を受 化的な表現活動のための環境づくりに 術文化の創造・発信に取り組みます。 めとした様々なイベントを開催し、芸 ましても、演劇の特別記念講演をはじ 功績のあった公共文化施設として、こ し芸術劇場プラット」は、 開館5周年を迎えた「穂の国とよは 創造的・文

記念コンサートを実施するなど、ハイ ドイツより著名管弦楽団を招へいし、 年オーケストラキャンプにおいては、 レベルな文化・芸術に触れる機会を提 また、創立10周年を迎える豊橋青少

二.未来(あす)をささえる安心づくり

○ 安心して子育てできる暮らしの実現



どもを産み育てやすい環境を整備しま 所などの利用者支援の充実を図るほ よう、様々な情報提供や保育所への入 の子育て支援施策を円滑に利用できる 切れ目のない子育て支援に向け、 認定こども園の整備を進め、子

Ŋ 相談に対応するための体制強化を図 「ココエール」では、 こども若者総合相談支援センター 子ども、若者たちの健やかな育ち 増加する子育て

を支えます。

貧困対策を推進します。 上や就職に向けた支援など、子どもの た環境に左右されないよう、学力の向 また子どもの将来がその生まれ育っ

いきいきとした長寿社会の実現



努めます。 業」にも取り組み、健康寿命の延伸に る「健幸」なまちづくりを進めるため、 に健康サポ―トを進める「健康経営事 進するほか、中小企業の従業員を対象 すため、条例の制定を通じた対策を推 また、受動喫煙による健康被害をなく し、市民生活のケアまで見据えた「A 能)による介護ケアプランをベースと これまで取り組んできたAI(人工知 ーケアシティ形成事業」を推進します。 誰もが生き生きと暮らすことができ

やスタッフの充実により市民、 に選ばれる病院を目指します。 性能な内視鏡手術室など専門医療機器 ター棟」がこの春オープンします。 にやさしい治療を提供する「手術セン 市民病院では、最新の医療技術と患者 また、東三河の中核病院である豊橋 医療者

○ 災害に強い暮らしの実現



ど、市民生活を脅かす自然災害が猛威 この地域に来襲し、 昨年は強い勢力の台風が幾度となく さらには大規模停電が発生するな 浸水被害や農業被

> 靭なまちづくりを進めます。 が安心で安全に暮らすことができる強 えた防災・減災対策を充実させ、 然災害や切迫する南海トラフ地震に備 を振るいました。激甚化する大規模自

建て替えを進めます。 備や老朽化した中消防署前芝出張所の となる梅薮地区津波防災センターの整 所の機能向上を目指し、マンホールト イレを増設するほか、市内で3か所目 こうした取組みの一つとして、

三、未来(あす)をつなぐまちづくり

○ 持続可能なまちづくり



づくりを進めます。 化や路面電車の軌道敷改修への支援な のほか、渥美線南栄駅のバリアフリー を設定しました。公共交通の利便性 ど、歩いて暮らせるコンパクトなまち が高い地区への転入・転居者への助成 都市機能誘導区域に加え居住誘導区域 昨年策定した立地適正化計画では、

称)」の整備を進めます。さらに歩行 の開館を目指す「まちなか図書館 (仮 えるストリートデザインを施します。 を創り、歩く楽しみを新たな魅力に加 に向け、中心市街地に潤いのある景観 者を中心としたまちなかの回遊性向上 業を支援するとともに、2021年度 市街地とするため、引き続き再開発事 また、にぎわいと活力に満ちた中心

8

○ ECOなまちづくりの実践



15 Bodose

8

るとともに、国の温室効果ガスの削減 い地域づくりを進めます。 ど、気候変動に適応した環境にやさし 目標を上回る数値目標を設定するな 続可能なエネルギ―の利活用を促進す した。家庭用エネルギー設備などの持 極的に貢献するため、本市は昨年10 地球温暖化対策に対して地方から積 「世界首長誓約/日本」に署名し

代に継承するため、ネイチャースポッ トの情報発信を充実させ、観光資源と しての活用も進めます。 また、本市の豊かな自然環境を次世

向上を図ります。 すごみに多く含まれる雑紙のリサイク 向けた検討を継続するとともに、燃や うため、田原市と連携し、広域処理に ルを推進し、ごみ減量とリサイクル率 さらにごみの焼却処理を安定的に行

○ 新たな広域の地域づくり





介護保険事業がスタートしました。 者を統合させ、東三河広域連合による 昨年4月には、8市町村の介護保険 **今**

事業基盤の強化に努めます。めるとともに、介護人材の定着に向け後も安定した介護サービスの提供に努

す。

す。

がな発展のための取組みを推進しま
方創生に資する事業など、地域の持続
に呼び込み、地域への定着を目指す地

ます。 また、「浜松三ヶ日・豊橋道路(仮称)」また、「浜松三ヶ日・豊橋道路(仮称)」また、
におい主要なインフラ整備のため、
など地域の発展に欠かすことが
と言道路や設楽ダム、三河港、スマー
名豊道路や設楽ダム、三河港、スマー
とが
など地域の発展に欠かする計画段
の概略ルート・構造を検討する計画段
の概略ルート・構造を
の表述を
の表述を

豊川市

工業団地の整備等、都市としての整備受けたこともありましたが、その後は川海軍工廠の被爆により大きな被害をました。本市の歴史におきましては豊ました。本市は昭和18年に誕生し、昨年6月本市は昭和18年に誕生し、昨年6月

した。 を進め今日の状況を築くことができま

ます。

本市を取り巻く環境は人口減少や少本市を取り巻く環境は人口減少や少ますが、私の思いを盛り込んだ政策ビジョン「4Sのまちづくり」につありますが、私の思いを盛り込んだ政をにがありますが、私の思いを感じい状況では

本市の魅力を高めることができるよっ、政策ビジョンの目標であります「子ら、政策ビジョンの目標であります」のと・しごと創生総合戦略に基づき、ひと・しごと創生総合戦略に基づき、ひと・しごと創生総合戦略に基づき、地方創生に係る重点施策に取組むと地方創生に係る重点施策に取組むともに、政策間における事業連携や官民連携を図りながら定住・交流人口の民連携を図りながら定住・交流人口の点を置いた取組を進めてまいります。

【平成31年度の重点施策】

るまちをつくります 「子育てするなら豊川市」といわれ

引続き保育所等への空調設備の設置をまでに事業を完了する見込みであり、空調設備の設置については、今年の夏の取組である小中学校の普通教室へののと成長することができ、「子育てのびと成長することができ、「子育てのびと成長することができ、「子育てのびと成長することができ、「子育てのびと成長することができ、「子育てのびと成長することができ、「子育てのびと成長する。

環境の充実を行います。 児保育として拡充させることで子育ての子どもも新たに受入れる病児・病後ついては、病気中または病気の回復期進めていきます。また、病後児保育に

ります 安全安心で活気のあるまちをつく 二.Safety【安心】

す。

ま

立

な

れる

南

海

に

大

の

は

に

で

の

は

に

の

は

に

の

は

に

の

は

に

の

は

に

の

は

に

の

は

に

の

は

に

の

は

に

の

は

に

の

は

に

の

は

に

の

は

に

の

は

に

の

は

に

の

は

に

の

は

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

が

に

す。
の高いまちづくりを推進していきま設することにより、活気があり持続性運営する事業者に対する補助制度を創地域で新たに医療施設や福祉施設等をまた、立地適正化計画に定める指定

たまちをつくります 人にやさしく健康で自然と共生し三. Soft 【やさしさ】

体制を整えます。
に、自立した生活を送れるように支援障害者の社会参加を推進するととも者就労相談支援専門員の拡充を行い、障害者の雇用促進を図るため、障害

よう環境の改善を図るとともに、市民ぶ大会や夜間の一般利用に対応できるに夜間照明を整備し、日没後にまで及園内の陸上競技場及びその周辺に新たまた、市の中心部に位置する豊川公また、市の中心部に位置する豊川公

ます。行うことができる取組を進めてまいりがいつでも気軽に体力・健康づくりを

すすめます わかりやすく、無駄のない行政を 四.Simple【わかりやすさ】

大学 、公共施設適正配置計画のリーディン 公共施設適正配置計画のリーディン 公共施設適正配置計画のリーディン 公共施設適正配置計画のリーディン 公共施設適正配置計画のリーディン 公共施設適正配置計画のリーディン 公共施設適正配置計画のリーディン

み、無駄のない行政運営を行います。続き、一般会計市債残高の削減に取組また、将来の負担軽減のために、引

五.国県への強い要望

大りの取組以外でも、設楽ダム本体工くりの取組以外でも、設楽ダム本体工工の早期開通、東三河環状線の整備促入の早期開通、東三河環状線の整備促力いては、さらに事業が進歩整備については、さらに事業が進歩を整備については、さらに事業が進歩を対します。

に重要と考えていますので、早期完成臨港道路東三河臨海線の早期実現は特立体交差化、臨海部の工業地域を結ぶ、備促進や、国道151号主要交差点のとなる国道151号一宮バイパスの整できない、この地域を南北につなぐ軸特に、東三河の発展に欠かすことが

ります。 に向けて強力に働きかけを行ってまい

蒲 郡 市

の施策を、市民の皆様と力を合わせ みやすい、 業の振興・働く場の確保」、「安全で住 なるよう、「堅実な行財政運営」、「産 まいります。 望に満ちた、明るく輝く元気な町」に 歩ずつ誠意をもって、全力で進めて 魅力ある町づくり」の3つ 蒲郡市がより一層「夢と希

と活気あふれる年にしたいと思ってお 念行事を展開し、1年を通して賑わい を皮切りに来年3月までさまざまな記 節目の年になります。5月の記念式典 また、本年は市制施行65周年という

【平成31年度の重点施策

企業誘致の推進

じた支援を行うことで「働く場の確保 業の増設・移転のニーズの把握などの ります。積極的に市内外の企業を訪問 進するための施策として大変重要であ 情報収集を行い、それぞれの企業に応 し、新規立地を希望する企業や既存企 口減少を防ぎ、活気ある町づくりを推 業の誘致と既存企業の流出防止は、人 結び付けていきたいと考えておりま 「働く場の確保」として、新たな企

> 平成32年12月には土地の引渡しをした いと考えております。 あります。年度内には売却先を決定し、 ひとつである柏原地区企業用地では、 売却先の選定作業を進めている最中で 現在、こうした企業誘致の受け皿の

名、新東名の2本の高速道路にアクセまた、本市は、広域的に見れば東 開通しました。今後、国道23号蒲郡バ ており、今後も順次整備されていく予 マイナス1m岸壁が一部供用を開始し いては、多目的国際ターミナルとして る国際貿易港「三河港蒲郡地区」にお たします。それに加えて、臨海部にあ あり、道路アクセスがますます向上い に、国道247号中央バイパスが全線 スでき、市内においても平成29年11月 イパスの東部区間が整備される予定で

企業誘致の推進に努めてまいります。 優れた立地環境の良さをアピールし、 こうした道路や港へのアクセスにも

産業の活性化

規模事業者が多い蒲郡市産業界として 国内事情だけでなく、通商問題の動 れている消費税率の引き上げによる影 による影響力も増しており、中小・小 向や近隣諸国を含む海外の経済や政策 響も心配されます。そして、昨今は、 おりません。また、本年10月に予定さ 経済には、好循環を実感するに至って 感が示されていますが、まだまだ地域 緩やかな回復基調が続くことへの期待 内閣府の発表によると、景気判断は

> は、依然、厳しい状況にあります。 主要産業の観光産業をはじめ、

域の活力回復に努めてまいります。 産業等の地場産業の活性化による、

寄っていただけるように蒲郡の魅力を と、世界的な大会が日本国内で開催さ 致にも、引き続き力を注いでまいりま 協力して、全国に「観光のまち、蒲郡」 発信してまいります。 本国内を移動される際、蒲郡に立ち 本を訪れます。大会に訪れた皆様が日 れ、ますます多くの外国人観光客が日 年には「東京オリンピック2020 カップ2019日本大会」、そして来 す。特に今年は「ラグビー・ワールド を図ってまいります。外国人観光客誘 を発信するとともに多くの観光客誘致 市の魅力を活かした話題が続きます。 会員制リゾートホテル「ラグーナベイ 本年3月に大型外航クルーズ客船「ダ この機会を大事にし、観光関係団体と コート倶楽部」の開業といった、蒲郡 イヤモンド・プリンセス号」の来航 観光振興の取り組みとしましては

地方創生事業への取組み

が避けられない中、 総合戦略」に基づき施策を実施してい を進めていくため、平成27年度に策定 した「蒲郡市まち・ひと・しごと創生 全国的に少子化が進行し、人口減少 自立した町づくり

連する二つの施設を保健医療センター 支援にかかる施策を第一に掲げてお 本市の総合戦略においては、 本年4月ー日に、子育て支援に関 子育て

> 団生活に適応できるよう支援を行いま かる相談やお子さん一人ひとりの特性 です。妊娠から子育て期までのさまざ 包括支援センター(愛称:うみのこ)」 に適した訓練等を行い、日常生活や集 にこりん)」です。子どもの発達にか つは、「児童発達支援センター(愛称 まな相談に対応いたします。もうひと 内に開設します。一つは「子育て世代

ります。 回するコミュニティバスについて、形 域の交通手段の確保のため、域内を巡 増加する見込みの交通弱者に対する地 西部地区での運行開始を目指してまい 原地区に続き、蒲郡東部地区及び蒲郡 また、今後の高齢化の進行とともに

都市基盤整備の促進

おります。 や市民生活の利便性向上等において最 の短縮など、多くの整備効果が現れて 緩和や救急車等の緊急車両の移動時間 ことにより、蒲郡の中心市街地の渋滞 247号中央バイパスが全線開通した 重要課題であります。一昨年、国道 幹線道路の整備は、地域産業の発展

的な要望活動を進めるとともに、用地 間については、市内にある2つのトン 通が近づいていることを感じておりま の工事が行われており、着実に全線開 東部区間最後の(仮称)豊沢トンネル ネルは既に貫通し、現在は豊川市側の また、国道23号蒲郡バイパス東部区 本年も引き続き、国・県への積極 道路整備などできる限りの協力

をしてまいります。

事を進めていると伺っております。 出荷台数も順調に増加しています。現出荷台数も順調に増加しています。現出荷台数も順調に増加しています。現出荷台数も順調に増加しています。現出荷台数も順調に増加しています。現出では今年度内の完了を目標につきる・6 200 で、200 で、200

いります。

一つ後も三河港蒲郡地区の活性化及びのます。

一つ後も三河港蒲郡地区の活性化及びの東側全バース完成を目指し、岸岸壁の早期全バース完成を目指し、岸利用促進を図るために、マイナス11m

五.健康づくりの推進

は、何より市民が健康でなければがら健康づくりを市の重点施策に位置がら健康づくりを市の重点施策に位置がら健康づくりを市の重点施策に位置がらません。蒲郡市では、平成25年度があふれるたまちに「活気と元気」があふれるたまちに「活気と元気」があふれるたまちに「活気と元気」があふれるたまちに「活気と元気」があふれるたまちに「活気と元気」があるれるたまた。

糖尿病予防学部の継続に加え、昨年は、防に特に力を入れています。健康大学以上、「中学生のピロリ菌検査・除菌が上」、「中学生のピロリ菌検査・除菌が上」、「中学生のピロリ菌検査・除菌が上」、「中学生のピロリ菌検査・除菌がした。その他、蒲郡市では、国がしただく「スマート・ライフ・を受けていただく「スマート・ライフ・を受けていただく「スマート・ライフ・を受けていただく「スマート・フィフ・ないます。

糖尿病の重症化などによって発症する 特別でよっております。 地域しいただき、関心の高さを実感い お越しいただき、関心の高さを実感い をしました。また、特定保健指導にも 重点的に取り組んでおり、平成29年度 で、県下最下位であった特定保健指導に に、県下最下位であった特定保健指導にも を了率(4・8%)は、平成29年度 能の高さを実感い を実感い を対しいただき、関心の高さを実感い を実感い を対しております。

指してまいります。 り、市民の皆様の健康寿命の延伸を目 生活習慣病の予防と重症化予防によ

六.市民病院の活性化

市民の健康と生命を守る病院行政 市民の健康と生命を守る病院行政 市民の健康と生命を守る病院の経営改善に向けた取組を重め、病院の経営改善に対したが、地域包括ケアシリに発見するため検査項目を充実した場に発見するため検査項目を充実した、 重要な施策であると同時に、経営は、重要な施策であると同時に、経営は、重要な施策であると同時に、経営は、重要な施策であると同時に、経営は、重要な施策であると同時に、経営は、重要な施策であると同時に、経営は、重要な施策であると同時に、経営は、

昨年4月には、名古屋市立大学に寄ります。

更に、昨年11月からは産婦人科の体制定認定再生医療等委員会を設置して特定認定再生医療等委員会を設置しております。「再生医療のまちづくり」について大きないます。「再生医療のまちづくり」について大きないます。「再生医療等委員会を設置しております。「再生医療等委員会を設置しております。「再生医療等委員会を設置しております。

的に受け入れをしております。たお産や、婦人科疾患についても積極制も強化しており、里帰り出産を含め更に、昨年11月からは産婦人科の体

を進めてまいります。
て過ごしていただける医療体制の整備化を推進し、市民の皆様がより安心しあります。これからも市民病院の活性大きく向上し、経営状況も改善しつつ大きく向上し、経営状況も改善しつつ

新城市

キャッスル・アライアンス会議には、10月に本市で開催しました世界ニュー拠点としての機能が整いました。またフ巨大地震などの災害に対応する防災し、今後発生が予想される南海トラー、年5月には念願の新庁舎が完成

愛知県をはじめ東三河の各自治体、ま愛知県をはじめ東三河の各自治体、ま愛知県をはじめ東三河の各自治体、東三河広域経済連合会など多くのは、東三河広域経済連合会など多くのは、東三河広域経済連合会など多くのは、東三河広域経済連合会など多くのは、東三河広域経済連合会など多くのは、東三河広域経済連合会など多くのは、東三河広域経済連合会など多くのは、東三河広域経済連合会など多くのは、東三河広域経済連合会など多くのは、東三河広域経済連合会など多くのは、東三河広域経済連合会など多くのは、東三河広域経済連合会などの地域といいます。

本年は、第2次新城市総合計画(平本年は、第2次新城市総合計画(平本年は、第2次新城市総合計画(平本年は、第2次新城市に関わる全ての人々が豊かさを転換し、新城市に暮らす人だけでなく転換し、新城市に暮らす人だけでなく転換し、新城市に暮らす人だけでなくをできるまちを目指した自治体経営を行ってまいります。

【平成31年度の重点施策】

・しんしろ創造会議

標であり課題です。
「人生100年時代」と言われる長寿社会の到来を見据え、人口減少・少寿社会の到来を見据え、人口減少・少寿社会の到来を見据え、人口減少・少

造会議を設置しました。 の選定を経て、昨年10月にしんしろ創準備会を設置し、課題の共有や委員

しんしろ創造会議では、社会経済情

創生戦略 (仮称)」の策定を目指します。果を基に、「人生100年時代の地域のできる社会の創造に資するために、のできる社会の創造に資するために、勢の変化に対応し、全ての市民が年齢勢の変化に対応し、全ての市民が年齢

実現二.ニューキャッスル会議共同声明の

平成10年から本市の提唱により世界 各国にある「新しい城」という同じ名 前の都市が同盟を結び、2年毎に国際 前の都市が同盟を結び、2年毎に国際 の開催となる「ニューキャッスル・ア ライアンス会議2018」には、世 ライアンス会議2018」には、世 ライアンス会議2018」には、世 ライアンス会議2018」には、世 ライアンス会議2018」には、世 ライアンス会議2018」には、世 フィアンス会議2018」には、世 ライアンス会議2018」には、世 フィアンス会議2018」には、世 フィアンス会議2018」には、世 フィアンス会議2018」には、世 フィアンス会議2018」には、世 フィアンス会議2018」には、世 フィアンス会議2018」には、世 フィアンス会議2018」には、世 フィアンス会議2018」には、世 フィアンス会議2018」には、世 フィアの高校との短期交流への道筋ができ るなど、国際化に向けて大きな成果を とげることができました。 この成果を とげることができました。 この成果を とげることができました。 フィス交流」「グローバル人材育成」「イ マス交流」「グローバル人材育成」「イ マス交流」「グローバル人材育成」「イ マス交流」「グローバル人材育成」「イ マス交流」「グローバル人材育成」「イ マス交流」「グローバル人材育成」「イ マス交流」「グローバル人材育成」「イ マス交流」「グローバル人材育成」「イ マス交流」「グローバル人材育成」「イ マス交流」「グローバル人材育成」「イ

三.公共施設等の管理適正化の推進

国的にも問題視されている昭和50年代 全化推進本部」を設置し、歳入確保・全化推進本部」を設置し、歳入確保・全化推進本部」を設置し、歳入確保・全化推進本部」を設置し、歳入確保・全化推進本部」を設置し、歳入確保・全化推進本部」を設置し、歳入確保・全化推進本部」を設置し、歳入確保・全化推進本部」を設置し、歳入確保・全化推進本部」を設置し、歳入確保・全化推進本部」を設置し、歳入確保・全化推進本部」を設置し、歳入確保・全化推進本部」を設置し、歳入確保・

では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、一般では、これでは、一般では、これでは、一般では、これでは、、一般では、、近い将来一斉に更新時期公共施設が、近い将来一斉に更新時期から平成初頭にかけて整備した多くのから平成初頭にかけて整備した多くの

福祉円卓会議

化を目指します。 社会福祉に携わる多職種の専門家等に この状況を一掃することを目的とし 現場で働く人たちが不足しています。 のつなぎ目を果たしている様々な福祉 しむことができます。今、支え合う力 間違いなく差し伸べられる体制があっ が本当に必要となったとき、その手が 施策の検討を行い、次年度以降の事業 成31年度は、実態調査の結果の分析と 境等に関する実態調査を行います。平 よる福祉円卓会議を発足させ、労働環 会を形成するため、平成31年当初に、 て、福祉職がやりがいを持てる地域社 て初めて、人は存分に働き、人生を楽 介護や医療、福祉など、人の手助け

五.中心市街地及び地域中心核の整備

向上を図ります。本市の主要駅である新城駅の構内こ本市の主要駅であるるとにより、機能性のの整備を進めることにより、機能性ののを備を進めることにより、日東海との協定項でありましたが、JR東海との協定項であります。また、新城駅南地区の整備を進めることにより、農業を関いるが、カースを図ります。本市の主要駅である新城駅の構内こ本市の主要駅である新城駅の構内こ

にあった施設整備を進めます。り、地域の中心拠点として市民ニーズら、地域の中心拠点として市民ニーズ合整備を進めます。老朽化した鳳来総は鳳来総合支所及びその周辺地域の総地域中心核の一つである長篠地区で

田 原 市

の周年の年でもありました。 150周年の年でもありました。 昨年は、市制施行15周年を迎えた節

き継いでいかねばなりません。豊かな渥美半島を、確実に次世代に引の農業のまちになりました。この実り農業は飛躍的な発展を遂げ、全国有数

本年は、計画最終年度を迎える『田本年は、計画最終年度を迎える『田本年は、計画最終年度を迎える『田本年は、計画最終年度を迎える『田本年は、計画最終年度を迎える『田本年は、計画最終年度を迎える『田本年は、計画最終年度を迎える『田本年は、計画最終年度を迎える『田本年は、計画最終年度を迎える『田本年は、計画最終年度を迎える『田本年は、計画最終年度を迎える『田本年は、計画最終年度を迎える『田本年は、計画最終年度を迎える『田本年は、計画最終年度を迎える『田本年は、計画最終年度を迎える『田本年は、計画最終年度を迎える『田本年は、計画最終年度を迎える『田本年は、計画最終年度を迎える『田本年は、計画最終年度を迎える『田本年は、計画最終年度を迎える』

【平成3年度の重点施策】

交流人口の拡大ちづくり

プと言われる「ISAワールドサー昨年は、サーフィンのワールドカッ

拡大や地域活性化を図ります。契機に、地域資源を活かした交流人口にたはら」を開催しました。これらをフィンゲームス」や「全国丼サミット

ます。ら巡り~な」を継続して実施していきら巡り~な」を継続して実施していきンセプトにした体験プログラム「たはまた、「渥美半島を暮らす旅」をコまた、「渥美半島を

○ 定住・移住の促進

○雇用の創出、産業基盤の充実

集約化を進めます。
し、耕作放棄地の解消と農地の集積・では、和地太田地区の基盤整備を継続「産出額全国1位」を誇る農業分野

域経済基盤の強化を図ります。 臨海工業地帯への企業誘致を進め、地別企業訪問、各種フェア出展等による工業分野では、トップセールスや個

一.住み続けたいまちづくり

○ 出産・子育て環境の充実

協働で取り組みます。 子育て環境の向上を図るため、この子育て環境の向上を図るため、この子育で環境の向上を図るため、この子育で環境の向上を図るため、この子育で環境の向上を図るため、この子育で環境の向上を図るため、この子育でででは、

○市街地の活性化

魅力と利便性の向上を図ります。新たな交流拠点として三河田原駅前のホテルや前述の「すくっと」と併せ、ルテルや前述の「すくっと」と併せ、したほか、1月末にオープンする民間したほか、1月末にオープンとALAGran(ララグラン)がオープン上田原市街地」では、昨年6月に「田原市街地」では、昨年6月に

整備と地域活性化を図ります。土地区画整理事業を支援し、住環境の「赤羽根市街地」では、組合施行の

ます。 にぎわい創出に向けた取り組みを行い「福江市街地」では、地域と協働で

○ 地域医療体制の充実

療体制の確保を図ります。「赤羽根診療所」を開所しました。今「赤羽根診療所」を開所しました。今において、昨年4月に公設民営によるにおいて、昨年4月に公設民営による

教育環境の充実

実を図ります。 式化やエアコン設置など教育環境の充を行うとともに、小中学校のトイレ洋を行うとともに、小中学校のトイレ洋(2021年竣工予定)など施設整備(2021年竣工予定)の新校舎建設

○ 安心・安全の推進

ます。
一時では、アラックを進めでは、アラックでは、アラックでは、アライ・アードのは、アライ・アードのは、アライ・アードのは、アラックをある。

三.未来につながるまちづくり

) 広域連携

東三河の企業への就職活動を一層推進「東三河広域連合」の一員として、

ム」の整備促進に協力します。取り組むとともに、引き続き「設楽ダ取り組むとともに、引き続き「設楽ダするための事業など地方創生の推進に

も力を注ぎます。
も力を注ぎます。
も力を注ぎます。
も力を注ぎます。
も力を注ぎます。
も力を注ぎます。
も力を注ぎます。
も力を注ぎます。
も力を注ぎます。

公共施設の適正化

討します。や施設の多機能化・複合化について検とが困難になるため、保有総量の圧縮とでの施設を更新・維持していくこ

○ 行政基盤の強化

す。 に向けて創意工夫を図ってまいりまの適正化を進めるとともに、財源確保収等に備え、行政改革によるサービス収等に備え、行政改革によるサービス

設楽町

しています。
に恵まれ、活気に満ちたまち、を目指フレーズに〝豊かな自然と魅力的な人まちに愛着・まちに自信」をキャッチまちに愛着・まちに自信」をキャッチ第2次総合計画では、「まちに活気・

旲亍∪ます。 るために、次のことを重点施策として 平成31年度は、この将来像を実現す

【平成31年度の重点施策】

くり一.みんなが主役の全員協働のまちづ

行政・地域・事業者が一体となり、 を若男女だれもが全員協働の視点でま をごくりに取り組めるよう意識を醸成 し、多様な地域組織の活性化や定住対 し、多様な地域組織の活性化や定住対 とで移住定住を進めます。平成30年度 とで移住定住を進めます。平成30年度 (12月時点)の空家バンク制度を充実させることで移住定住を進めます。平成30年度 作で、うち4世帯7名が町外から移住 件で、うち4世帯7名が町外から移住 しました。年間10世帯の移住を目標に、 しました。年間10世帯の移住を目標に、 りました。年間10世帯の移住を目標に、 しました。年間10世帯の移住を目標に、

成を図ります。 て、行政職員と住民に対し、意識の醸小規模多機能自治組織の設立を目指しい規模多機能自治組織の設立を目指しい。

目指します。 制をとり、男女共同参画社会の実現を計画」に基づき、行政と住民が連携体する「第二次設楽町男女共同参画基本する「第二次設楽町男女共同参画基本

・森と水が活きる環境共生のまちづ

す。の魅力的な資源としてPR・活用しまて、豊かな自然と共生しつつ、設楽町て、豊かな自然と共生しつつ、設楽町自然環境の保全と活用の取組を通じ

○森林資源の有効活用を目的とした

めの意向調査・境界確定等の取組を推伐や路網といった森林整備や、そのたくり基本計画を改訂するとともに、間譲与税(仮称)を活用し、設楽町森づ譲与税(仮称)を活用し、設楽町森づきます。

材の効果的な活用施策に取り組んでい31年度以降も引き続き、奥三河地域の

に向けて、検討を進めます。 ◎とこれを利用した電力利用の具現化 ◎設楽ダムによる小水力発電施設の構

進していきます。

ぎわいのまちづくり三.地域産業の魅力と活力あふれるに

口の流入増加を図ります。と魅力を引き出し、町外からの観光人設の機会を活かして、地元産業の活力設の機会を活かして、地元産業の活力

○「設楽町観光まちづくり基本計画

町の魅力を町内外にPRするととも 指します。 に、設楽町の魅力を高めることを目 アクションプラン」に基づき、

安全で快適な暮らしやすいまちづ

住民が将来にわたって暮らし続ける

備促進を図ります。 3路線、県道5路線、 ○毎日の生活で欠かせない町内の国道 取り組みます。 ことができるよう、生活環境の整備に 町道、 林道の整

進めます 事を行います。また、老朽化している 渠工事、そして、町では枝線の管渠丁 同地区の水道管の更新事業も継続して 行による処理施設建設工事と幹線の管 ています。平成31年度は継続して県代 し、田口地区の公共下水道事業を進め ○平成33年度の一部供用開始を目指

がら防災力の強化を図ります。 織が購入する防災資機材費用を補助す 民の協力が不可欠であり、自主防災組 災力強化を推進します。災害対応は住 ものとするなど、地域住民と協力しな るとともに、防災訓練をより実践的な ○住民や消防団等と協力して地域の防

五 支えあいと助けあいによる安心福 祉のまちづくり

地域包括ケア体制の確立を目指しま ら一生を過ごせるよう、子育て支援策 全ての人が身近な地域で支えあいなが 拡充や障害者の自立支援とともに、 子どもから高齢者、障がい者まで、

らの移住が円滑にできるよう支援しま するとともに、子育て世帯の町外か 引き続き充実した保育サービスを実施 ○10月からの保育の無償化に向けて、 防事業の一層の充実に努めます。 ルエンザ予防接種を平成31年度より無 償化すべく予算計上するなど、保健予 住民検診とがん検診、高齢者インフ

六 人とまちの未来を育む教育文化の まちづくり

会づくりを行います。 地域文化・国際交流の環境の構築や機 とができるよう、学校教育・生涯学習 未来を創造する人材として活躍するこ 町民が豊かな人間性を育み、まちの

生に地元の企業を紹介し、地元で働く みとして、引き続き「お仕事フェア_ 後までを見据えた人材育成の支援を行 多くの生徒の進学先となるよう、卒業 ○郡内唯一の高校である愛知県立田□ とで、若年層の地元定着を図ります。 ことを具体的にイメージしてもらうこ を行います。同校の生徒や郡内の中学 います。特に全国的にも珍しい取り組 げて取り組んでいます。郡内外のより 高等学校の魅力化に、郡内3町村を挙

東

栄

町

【平成31年度の重点施策

支えあう健康福祉のまちづくり

らし続けられるまちを実現します。 とで、地域全体がつながり安心して暮 ンターのあり方も引き続き検討するこ 的に提供できる仕組みを構築しまし 月に策定し、医療、福祉、介護が一体 施設を目指すとともに、病院や保健セ 機能の担い手となるような多機能拠点 齢者のみでなく多世代交流の場や防災 活支援拠点施設「おいでん家」を、 た。町内12地区に整備した高齢者等生 地域包括ケアシステムを平成30年3

二.豊かな文化と心を育むまちづくり

取り組みを進めます。 ることで、子育て環境の充実に向けた 放課後児童クラブの受入時間を延長す サービスの体制を充実します。 を進めるとともに、延長保育等の保育 す。この4月開園に向けて着実に事業 統合する新保育園の建設を行っていま 現在町内に2園ある保育園を1園に また、

三、活力のあるまちづくり

強化します。また、名古屋大学との連 観光を活かした地域内循環の流れを 飲食業者に提供する仕組みを強化し、 川の鮎を、釣り客から買い取り町内の でグランプリとなり人気となった振草 平成29年に全国清流めぐり利き鮎会

> ります。 ニューアルし、年間を通じた花祭体験 携事業により今後3ヵ年をかけて映像 を提供し、観光資源の強化・充実を図 環境の構築を中心にした展示内容をリ

定住・交流を支えるまちづくり

で、移住の流れを確実なものにし、 金などの既存施策を組み合わせること 進と若者定住奨励金や移住者通勤支援 に新たな賑わいをつくりだします。 きを捉え、受入に向けた地域理解の促 空き家バンクによる移住者増加の 町

五 協働によるまちづくり

町まちづくり基本条例」の理念を広め 町民の町政への参加機会を拡大するた るため、町民等による実行委員会組織 します。 おり、町民が主役のまちづくりを推進 め行政評価制度の見直しなどを行って により座談会を開催しています。また、 平成30年4月から施行された「東栄

豊 根 村

いきます。 平成31年度は、 各計画に沿った取り組みを推進して

○第6次総合計画の2年目(2018~2027) ○豊根村まち・ひと・しごと創生総合戦略の5年 (2015~2019最終年度) Ė

○豊根村観光交流アクションプラン 入構想」(2014~2020 「めざせ100万

【平成31年度の重点施策】

. 第6次総合計画の推進



コンセプトは、「豊かに根ざす村」

村民みんなが

観光大使になる

が中心となった取組みと、行政の取組みが協働しなが 互いが担い手となって進めていく。 実現は、 車の両輪となって展開され、刺激し合いながらお 行政だけでできることではないため、 村民

そのための将来目標を設定した。

を可能にします。このような「しごと」を作りながら. を活かした「しごと」をつくり、 村民の暮らしの基盤を確立するために、 豊根村らしい働き方 地域の特性

 \bigcirc

農林水産物の活用 道路の整備・維持管理

商工業の振興

 \bigcirc 0

観光の振興

 \bigcirc \bigcirc

地域特性を活かした雇用のあり方の検討

ができる地域を作ります。これにより、地域がさらに 元気になり、新たな「しごと」の可能性が芽生えると いう好循環の実現を目指します。 を増やします。そして、みんなが幸せな「くらし」 ターン者を迎え入れるなど、地域で暮らす「ひ

将来目標1 の提案~ 自然が仕事になる豊根村~多様な働き方

村民ができること「村民の行動指針」











行政が取り組むこと「行政施策.

- \bigcirc \bigcirc 学校教育の充実
- 子育て・現役世代支援 ビジネス人材の育成
- \bigcirc \bigcirc 生涯学習の充実
- 誇れる文化づくり

行政が取り組むこと「行政施策_

住まいの基盤づくり 村外との交流の促進

 \bigcirc \bigcirc

定住促進対策

ターン者を迎え入れる~ 将来目標2 住んでみて!豊根村~温かい心でU・ー

村民ができること「村民の行動指針」



毎日誰かと話そう! 毎日、家の外に出て、誰かと話をしましょう。これ が、生活の楽しみや生きがいにつながります。さち に、地域の助け合いや見守りにつながります。

安定した行財政運営の体制づくり

広域的な連携体制の強化

生活基盤の整備

自然環境の保全

000000

防災

· 防犯対策

医療・福祉の充実・健康づくり

子育て・現役世代支援

地域づくり

将来目標3 て暮らせるために~ みんなが幸せになる豊根村~みんなが安心し

村民ができること「村民の行動指針







豊根村に住む

444

良さを伝えよう

村で住みやすいと感じている ことを、日頃から子どもや知り 合いに話をしましょう。これ が、リ・1ターンの促進、転出防

行政が取り組むこと

「行政施策」

す。 の評価検証を行いながら、着実な地方創生を推進しま 5年目を迎え、 最終年度となることから、 取り組み

をはじめとした淡水魚産業の振興を図る。 低温プラズマ技術実装化事業 豊根村の清らかな水資源を活用したチョウザメ養殖

= 豊根村まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進



豊根村観光交流アクションプラン

急速に変わってきています。 三遠南信自動車道や新東名高速道路の整備が着実に進み、名古屋方面や浜松方面から

三周県何目即申退で南東名馬造館の登積が西東に進み、名百四万庫や邦北万庫から のアウセス内部駅に向上してきまり、現来的には、リアカ部線の整備も過去す。 豊根村に、いろいろな都市から、いまより即時間で来ることができるようになります。 豊根村には、現在、年期時の5万人の数末があれています。しかし、豊根村の実力は、 まだまだるると思います。場立た地域表面がおれています。しかし、豊根村の実力は、 まだまだるると思います。場立た地域表面が目が届こいやおもでないのサービスなどの 新しいアクション(行動)をみんなでおこしていけば、観光交流人口を100万人にする

ことで更にあるいにないのよう。 そうすずは、影が楽器は一幅ご気づき、若い人の雇用も生まれ、ますます重様村が元気 になれると考えます。そんな思いで、村段のみなさんとともに、このプランを作り上げ ました。 「めざせ100万人」を合言第に豊根村の観光をみんなで元気にしていきましょう。

わたしたちの豊根村を巡る環境は

ことも夢ではないと思います。

いまの とよねでは 何人なの?

・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 60万人だよ できるのかな?

豊根村長 伊藤実

三 100万人構想」の推進 豊根村観光交流アクションプラン「めざ

観光交流の拡大に向け、 山の日フェ 「 スタ」 や

グリーンポート宮嶋」での特産品販売を充実させます。 の施設などの観光施設の充実を図ります。 平成27年にリニューアルオープンした「道の駅豊根

業を実施するとともに、

既存の芝桜の丘や茶臼山高原

遠信食の祭典」、

「スポーツ雪合戦大会」

など個別の

事

山の日フェスタ(8月)

 \bigcirc \bigcirc

- 三遠南信食の祭典(10月)
- スポーツ雪合戦大会(2月)

など

発行日2019年2月28日発行所東三河懇話会

〒 440-0888 愛知県豊橋市駅前大通 3 丁目 53 番地

太陽生命豊橋ビル 2 階

TEL.0532-55-5141 FAX.0532-56-0981

info@konwakai.jp

http://www.konwakai.jp 編集発行人 東三河懇話会 伊藤恵祐